

美里町健康増進計画

健康みさと21



平成 24 年 7 月

美 里 町

目 次

第 1 章 策定の概要 1

- 1 第2期増進計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の推進に向けて

第 2 章 計画の基本的な考え方 3

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 重点項目
- 4 本町の現状

第 3 章 各論 11

- 1 重点項目別の取組と目標
 - 重点項目 1 栄養・食生活
 - 重点項目 2 身体活動・運動
 - 重点項目 3 歯の健康
 - 重点項目 4 こころの健康づくり
 - 重点項目 5 たばこ・アルコール
 - 重点項目 6 生活習慣病
- 2 数値目標一覧

第 4 章 資料 24

- 目標値設定の考え方
- 平成 22 年度町民健康調査の概要
- 第 1 期目標達成状況の評価と第 2 期目標の比較
- 美里町の現状分析用統計表
- 美里町健康づくり推進協議会条例・委員名簿

第1章 計画策定の概要

1 第2期増進計画策定の趣旨

国では、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ることを目標に、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を展開しています。

本町においても超高齢化の状況の中で、町民すべての人が生涯を通じて健康で自立した生活が送れるよう、美里町健康増進計画「健康みさと21」を平成20年4月に策定し、「健やかで安心なまちづくり」をめざし、町民自らが主体的に取り組む健康づくり施策を展開してきました。

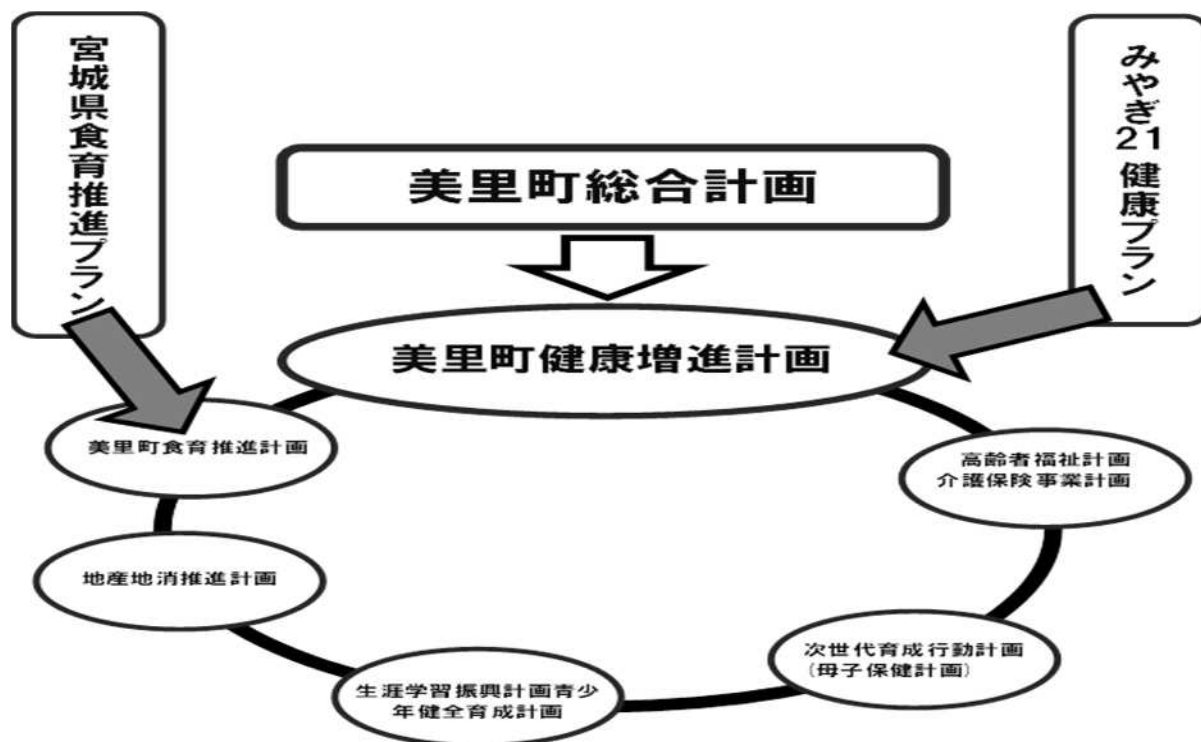
第1期の美里町健康増進計画の目標達成状況は、6つの重点項目の指標28項目のうち9項目が達成されている状況です。また、達成まであと一歩と改善傾向にある項目もありますが、19項目は達成していない状況です。達成していない重点項目は、健診受診率向上等を目標とする生活習慣病が減少していない項目となっており、働き盛り世代へのアプローチが難しく動機付けができないことが課題となっています。

今後、さらに家族や地域とかかわりを構築しながら、将来的な生活習慣病発症を予防し、質の高い健康的な人生を送るために、この計画は美里町の健康づくりの目指すべき目標を定め、取り組む方向性を明らかにするものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、健康増進法第8条第2項の規定によるものであり、第1期計画に引き続き、町民の健康増進の推進に関する施策についての計画とします。

また、美里町総合計画を上位計画として、既存の関連計画との整合性を図りながら策定したものです。



3 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度から平成33年度までの10年間とします。5年を目途に中間評価を行い、見直し後に後期計画を策定し、最終年度に評価を行い、その後の健康づくり運動の推進に反映させるものとします。

なお、計画期間中に著しい状況の変化等が生じた場合は、必要な計画の見直しを行います。

平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
前期計画期間				見直し	後期計画期間				最終 評価

4 計画の推進に向けて

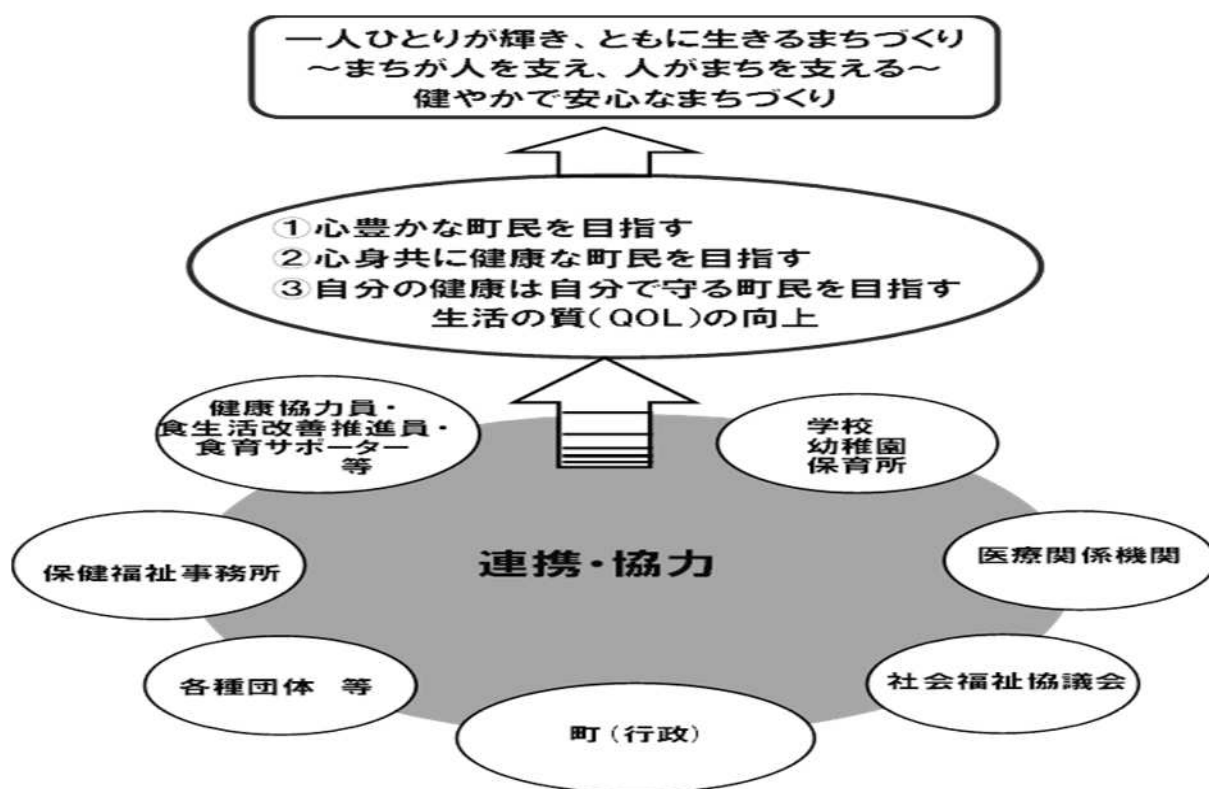
計画の推進体制

① 協働による全町的な取り組み

各種関連団体等と健康づくりのネットワークを構築・活用し、情報の交換と共有の下、町全体での協働による健康づくりを進めていきます。

② 行政(役場等)における推進体制

健康づくりに関連する各課と施策の調整・事業立案を図りながら、政策会議等で情報共有・総合調整を行い、計画的に施策を展開していきます。



第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

一人ひとりが輝き、ともに生きるまちづくり
～まちが人を支え、人がまちを支える～
健やかで安心なまちづくり（保健、医療、福祉などの視点）

美里町総合計画の基本理念を、第2期美里町健康増進計画の基本的な考え方として捉えます。

2 基本目標

心豊かな町民をめざします
心身ともに健康な町民をめざします
自分の健康は自分で守る町民をめざします

住民一人ひとりが『自分の健康は自分で守る』『家族の健康は家族で守る』という健康に対する意識を持ち、自らの健康づくりに取り組みます。また、家族や地域のつながりを大切にしお互いの健康づくりを支え合う関係づくりを推進し、生涯を通じて健やかで充実した人生を送ること（生活の質〈QOL〉の向上）を目指します。

3 重点項目

基本目標達成のために、生活の質の低下につながる生活習慣病の予防にむけて、第1期計画に引き続き次の6項目を重点項目として設定しました。第1期の計画では、各組織の方々と話し合い、町が目指す姿に向けて重点項目の目標を設定しましたが、第2期計画では、各項目の目標を現在の状況や実施事業から評価・分析し、今後の目標を設定しました。10年間を見据えた計画となりますので、国や県の動向・町の他の計画との関連を考慮し今後も推進していきます。

- (1) 栄養・食生活
- (2) 身体活動・運動
- (3) 歯の健康
- (4) こころの健康づくり
- (5) たばこ・アルコール
- (6) 生活習慣病・・・・・・・・

適切な生活習慣の維持

生活習慣病の発症予防・重症化予防

4 本町の現状

1) 進む少子・高齢化

平成22年9月末現在、人口25,597人、この内65歳以上の高齢者が7,192人（高齢化率28.10%）です。一方、平成22年の出生数は153人（出生率5.98%）であり、少子・高齢化が年々進行しています。

▼美里町人口、高齢化率、死亡、出生の推移

	人口	65歳以上	高齢化率	死亡数	死亡率	出生数	出生率
平成13年	27,593	6,579	24.01%	277	10.04‰	196	7.10‰
平成14年	27,361	6,691	24.56%	296	10.81‰	190	6.94‰
平成15年	27,269	6,747	24.86%	279	10.23‰	199	7.30‰
平成16年	27,112	6,810	25.20%	253	9.33‰	200	7.38‰
平成17年	26,835	6,887	25.76%	289	10.77‰	173	6.45‰
平成18年	26,566	6,929	26.08%	298	11.22‰	171	6.44‰
平成19年	26,331	6,998	26.58%	321	12.19‰	174	6.61‰
平成20年	25,961	7,078	27.26%	295	11.36‰	157	6.05‰
平成21年	25,811	7,176	27.80%	308	11.96‰	161	6.24‰
平成22年	25,597	7,192	28.10%	321	12.54‰	153	5.98‰

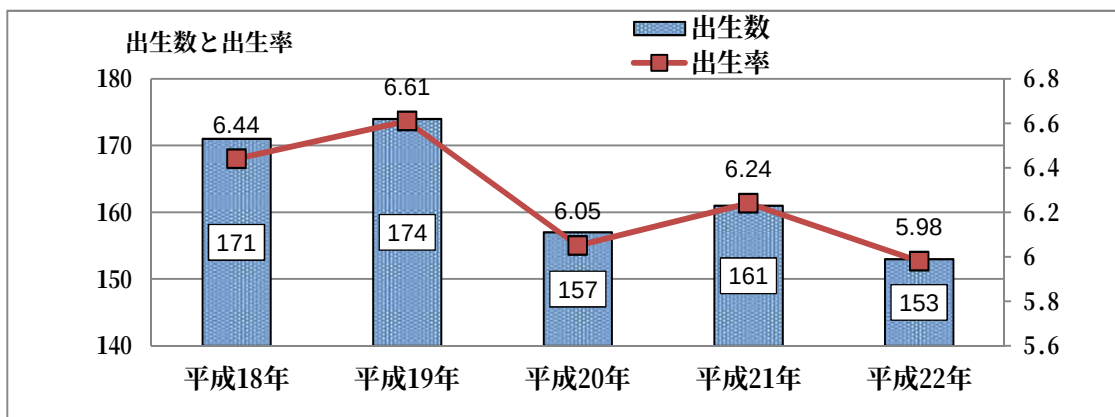
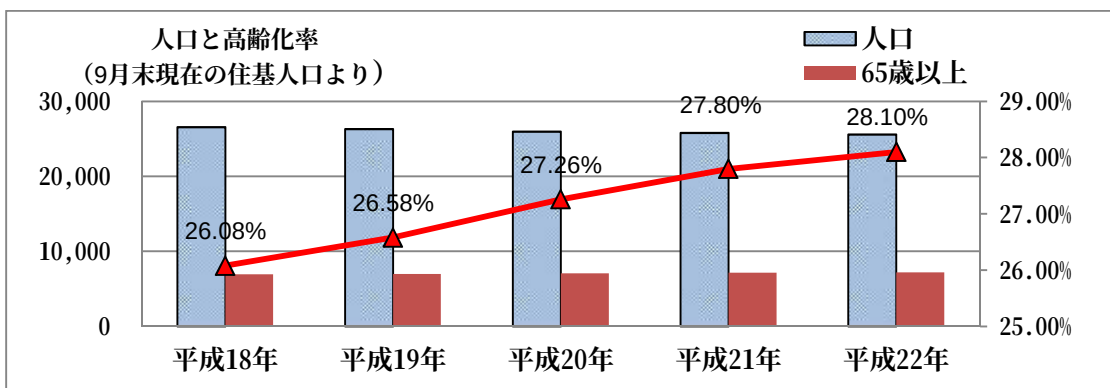
※ 人口は、9月末現在の住基人口

※ 平成13年から平成17年は旧町の合計

※ 平成13年から平成17年の高齢化率は、各年度末の住基人口による。

※ 死亡率＝年間死亡数／人口×1,000

※ 出生率＝年間出生数／人口×1,000



2) 死亡等の状況

(1) 生活習慣病による死亡等の状況

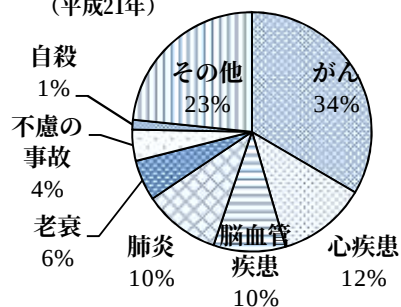
死亡状況をみると、死亡原因の第1位はがんで、次いで心疾患、脳血管疾患の順になっています。いわゆる生活習慣病による死亡数が全体の約6割を占めています。

心疾患による死亡率は、減少傾向ですが、がんによる死亡率は、宮城県より高い傾向で推移しています。がんによる死亡は女性より男性が多く、胃がんが多くなっています。

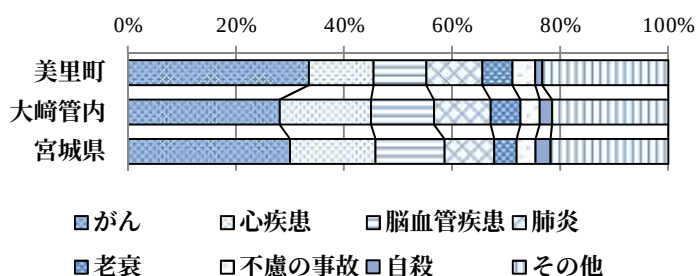
▼美里町死因別死亡状況（死亡数と人口10万対死亡率）衛生統計年報より

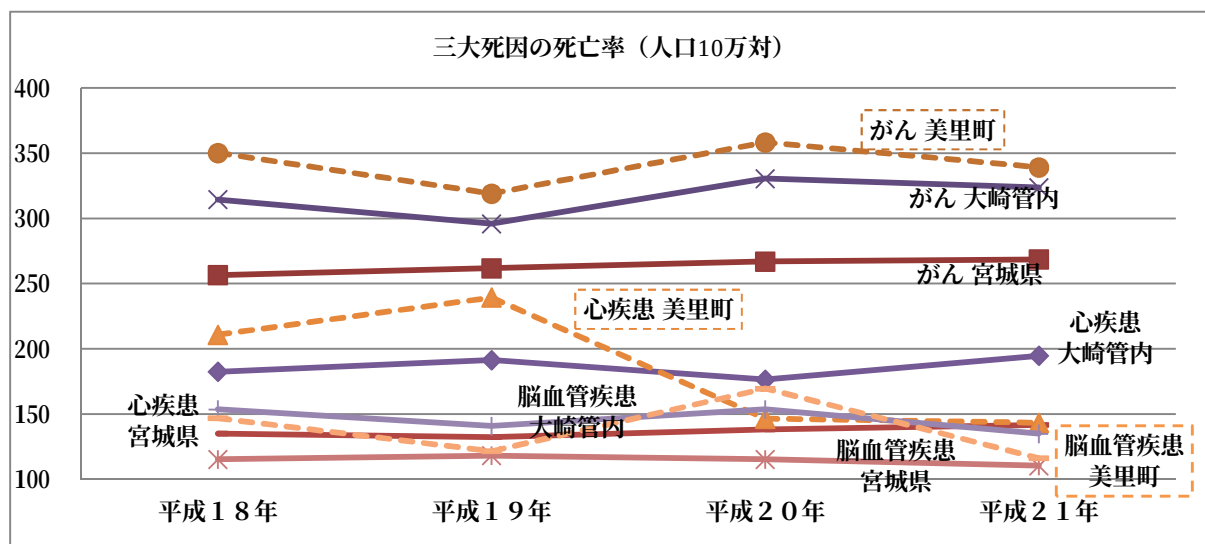
		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総死亡数	実数	267	296	279	253	289	298	321	295	308
	率	967.6	1081.8	1023.1	933.2	1077.0	1,121.7	1219.1	1136.3	1193.3
結核	実数	1	1	1	0	0	0	1	0	1
	率	3.6	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.9
悪性 新生物	実数	85	85	90	73	85	93	84	93	103
	率	308.0	310.7	330.0	269.3	316.8	350.1	319.0	358.2	399.1
糖尿病	実数	1	3	3	1	4	2	6	6	1
	率	3.6	11.0	11.0	3.7	14.9	7.5	22.8	23.1	3.9
高血圧性 疾患	実数	1	0	2	2	2	1	2	0	4
	率	3.6	0	7.3	7.4	7.5	3.8	7.6	0.0	15.5
心疾患	実数	49	49	49	51	49	56	63	38	37
	率	177.6	179.1	179.7	188.1	182.6	210.8	239.3	146.4	143.3
脳血管 疾患	実数	41	45	34	34	32	39	32	44	30
	率	148.6	164.5	124.7	125.4	119.2	146.8	121.5	169.5	116.2
肺炎	実数	18	29	25	25	26	30	39	34	32
	率	65.2	106.0	91.7	92.2	96.9	112.9	148.1	131.0	124.0
慢性気管 支炎及び 肺気腫	実数	1	5	1	2	1	4	3	0	1
	率	3.6	18.3	3.7	7.4	3.7	15.1	11.4	0.0	3.9
喘息	実数	0	0	1	1	2	0	1	2	0
	率	0	0	3.7	3.7	7.5	0.0	3.8	7.7	0.0
胃潰瘍及 び十二指 腸潰瘍	実数	3	0	0	1	1	0	1	0	0
	率	10.87	0	0	3.7	3.7	0.0	3.8	0.0	0.0
肝疾患	実数	2	4	4	3	5	3	3	2	3
	率	7.2	14.6	14.7	11.1	18.6	11.3	11.4	7.7	11.6
腎不全	実数	2	2	6	4	14	5	7	2	11
	率	7.2	7.3	22.0	14.8	52.2	18.8	26.6	7.7	42.6
老衰	実数	8	6	10	7	7	9	16	9	17
	率	29.0	21.9	36.7	25.8	26.1	33.9	60.8	34.7	65.9
不慮の事 故	実数	7	17	9	9	13	6	8	13	13
	率	25.4	62.1	33.0	33.2	48.4	22.6	30.4	50.1	50.4
(再掲) 交通事故	実数	1	5	3	3	4	2	1	1	2
	率	3.6	18.3	11.0	11.1	14.9	7.5	3.8	3.9	7.7
自殺	実数	7	5	9	5	10	9	10	8	4
	率	25.4	18.3	33.0	18.4	37.3	33.9	38.0	30.8	15.5

美里町主要死因の割合
(平成21年)



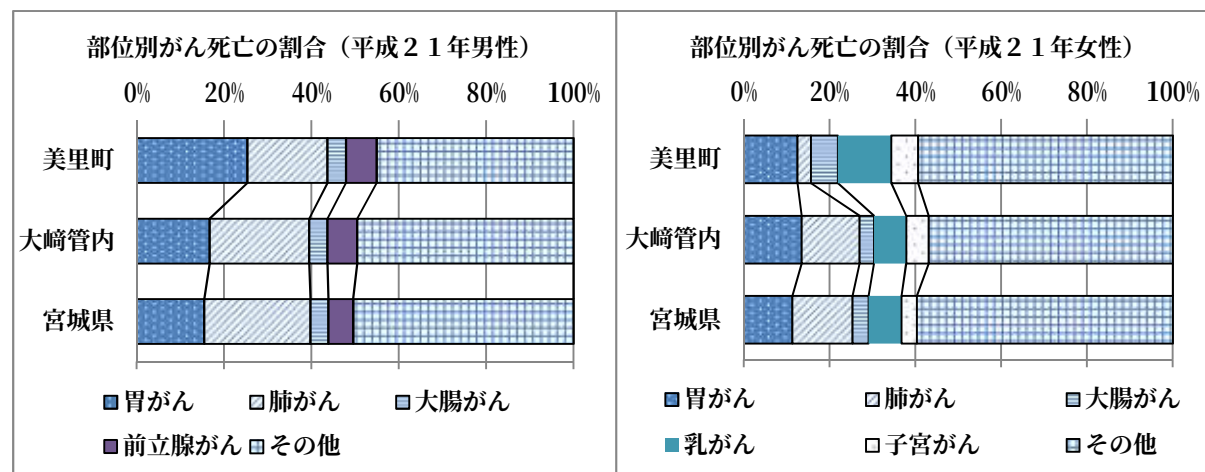
主要死因の割合比較 (平成21年)





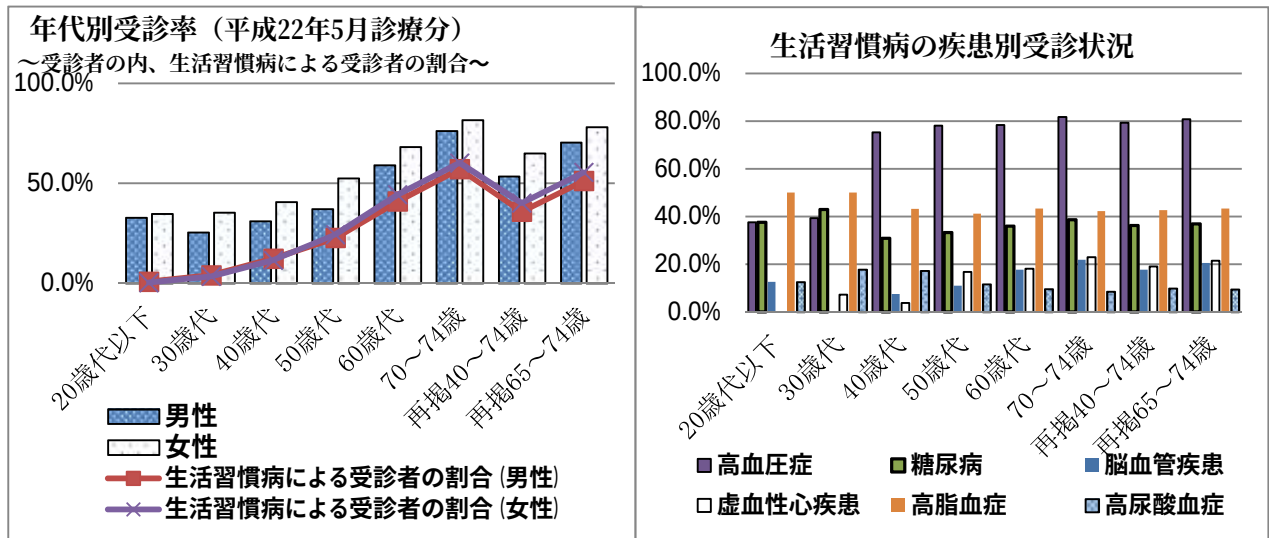
▼美里町悪性新生物 部位別死亡数の推移（衛生統計年報より）

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総数	男女計	85	85	90	73	85	93	84	93	103
	男	50	50	48	43	51	54	47	57	71
	女	35	35	42	30	34	39	37	36	32
胃	男女計	17	14	11	8	18	20	18	14	22
	男	9	10	9	6	11	15	12	10	18
	女	8	4	2	2	7	5	6	4	4
直腸S上結腸移行部及び直腸	男女計	6	7	5	3	4	4	6	3	5
	男	3	3	3	2	2	2	3	2	3
	女	3	4	2	1	2	2	3	1	2
気管・気管支及び肺	男女計	26	12	17	10	16	15	17	16	14
	男	18	10	11	6	15	9	11	10	13
	女	8	2	6	4	1	6	6	6	1
乳房	女	0	1	4	2	4	2	1	3	4
子宮	女	1	2	0	2	1	1	1	1	2
前立腺	男	1	1	3	3	4	3	2	3	5
その他	男女計	34	48	50	45	38	48	39	53	51
	男	19	26	22	26	19	25	19	32	32
	女	15	22	28	19	19	23	20	21	19



(2) 医療の状況

国民健康保険の年代別受診状況をみると、50歳代以降になると受診者の半数以上が生活習慣病による受診となっており、特に高血圧症による受診が多くなっています。



3) 健康調査等からみる健康や生活習慣の状況

(1) 平成22年国民健康・栄養調査結果

国で発表した国民健康・栄養調査結果の概要から、生活習慣病発症の原因となる生活習慣の状況を都道府県別にみると、宮城県は野菜摂取量を除き下位群であり、本町も同様の傾向にあると推察されます。

▼平成22年国民健康・栄養調査結果の概要から 都道府県別の肥満及び生活習慣の状況

	全国平均	都道府県の状況		宮城県の状況	
		上位群	下位群	全国順位	
1. 肥満者（男性）の割合（%）	31.1	39.7	25.2	39.5	6位
2. 野菜摂取量（g/日）					
男性	301	339	272	324	8位
女性	285	321	253	308	9位
3. 食塩摂取量（g/日）					
男性	11.8	12.7	11.0	12.5	7位
女性	10.1	10.8	9.4	10.7	9位
4. 歩数（歩/日）					
男性	7,225	7,659	6,271	6,479	40位
女性	6,287	6,613	5,551	5,791	38位
5. 現在習慣的に喫煙している者（男性）の割合（%）	37.2	42.2	33.5	41.4	9位
6. 飲酒習慣者（男性）の割合（%）	35.9	43.3	31.4	40.2	8位

※都道府県別データを並べて、高い方から低い方に分け、上位25%を上位群、下位25%を下位群としている

(2) 美里町町民健康調査の結果

① 肥満者の状況

成人男性の29.2%、女性の22.3%が肥満で、女性より男性の肥満者が多い傾向です。

(%)

肥満者(BMI25以上)の割合

	平成17年	平成22年
男性	31.7	29.2
女性	20.0	22.3

(町民健康調査)

▼肥満度の状況(平成22年美里町町民健康調査)

(%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
やせ	2.7	3.4	1.8	0.9	0.8	1.9	6.4	6.3	2.9	3.5	2.8	4.2
普通	69.4	64.7	75.4	64.3	70.7	68.9	83.6	83.8	71.7	67.4	65.2	73.5
肥満	27.9	31.9	22.8	34.8	28.5	29.2	10.0	9.9	25.4	29.1	31.9	22.3

※やせ：BMI18.5未満、普通：BMI18.5以上25.0未満、肥満：BMI25.0以上

② 栄養・食生活の状況

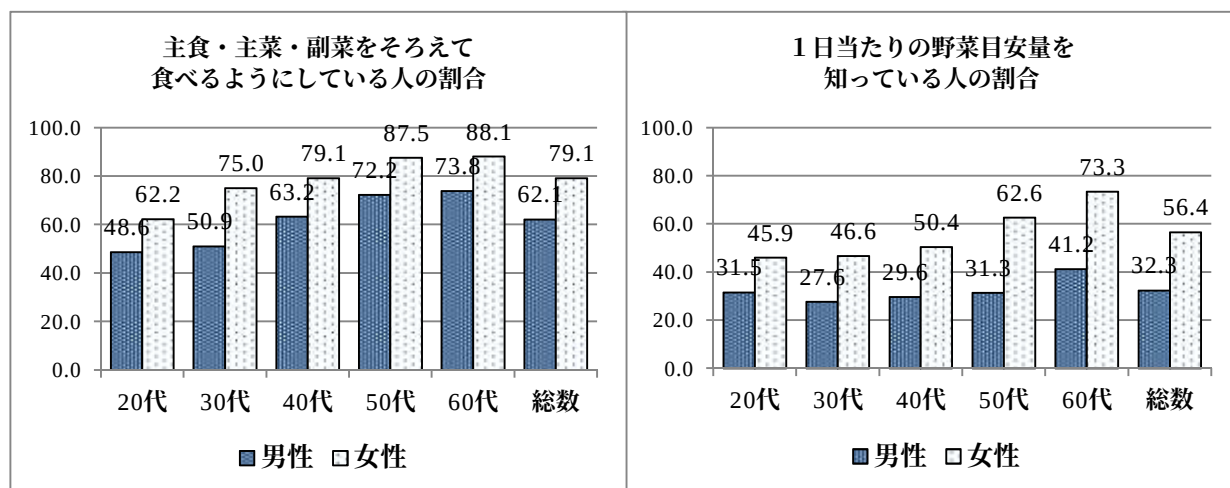
朝食を週に4～5回以上欠食する人は、男女とも約1割ですが、年代別にみると若年層になるほど増加し、20歳代は男女とも2割を超えている状況です。

食生活の意識として、主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合は、男性が約6割、女性は約8割で、年齢とともに、バランスの良い食事を心がけている人が多い状況です。また、1日当たりの野菜の目安量を知っている人の割合は、男性は各年代とも約3割でしたが、女性は20歳代でも5割に近い状況です。

▼朝食を週4～5回以上欠食する人の割合(美里町町民健康調査)

(%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
平成17年	23.5	28.1	19.0	7.9	2.6	15.2	20.5	12.9	9.5	3.4	1.1	8.5
平成22年	27.0	12.9	10.4	6.1	1.7	11.4	21.4	14.3	7.8	4.3	1.5	9.3

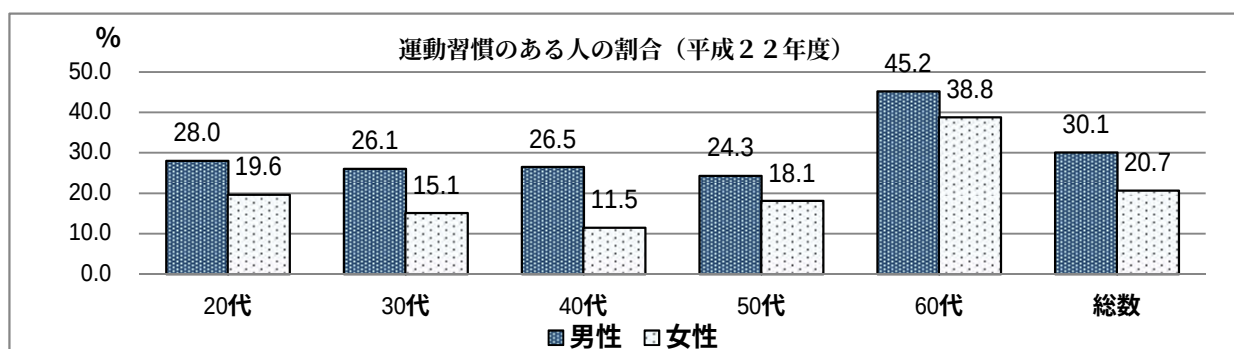


③ 身体活動・運動習慣の状況

運動習慣のある人（1回30分以上を週2日以上継続している人）は、男性で約3割、女性では約2割の状況です。最も高い年代の60歳代を除いて、女性は2割に達していない状況です。

▼運動習慣のある人（1回30分以上を週2日以上継続している人）の割合（美里町町民健康調査）（%）

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
平成17年	34.1	18.6	23.8	20.2	33.3	26.1	15.3	9.5	14.3	17.5	31.0	18.0
平成22年	28.0	26.1	26.5	24.3	45.2	30.1	19.6	15.1	11.5	18.1	38.8	20.7



④ 喫煙の状況

現在たばこを「毎日吸う」、「時々吸っている」人の割合は、男性で約5割、女性で約1割になっています。

▼喫煙習慣のある人（毎日または時々吸う）の割合（美里町町民健康調査）（%）

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
平成17年	64.3	65.6	63.9	52.4	40.0	56.7	38.9	21.7	16.8	10.2	8.4	17.8
平成22年	50.9	55.6	63.8	48.3	35.0	50.5	19.8	27.3	13.8	4.3	4.6	13.4

⑤ アルコール摂取の状況

アルコールを「毎日」飲む人の割合は、男性33.8%、女性7.0%です。飲酒習慣のある人の内、週4日以上1回3合以上飲酒する人は30歳代の男性が多くなっています。

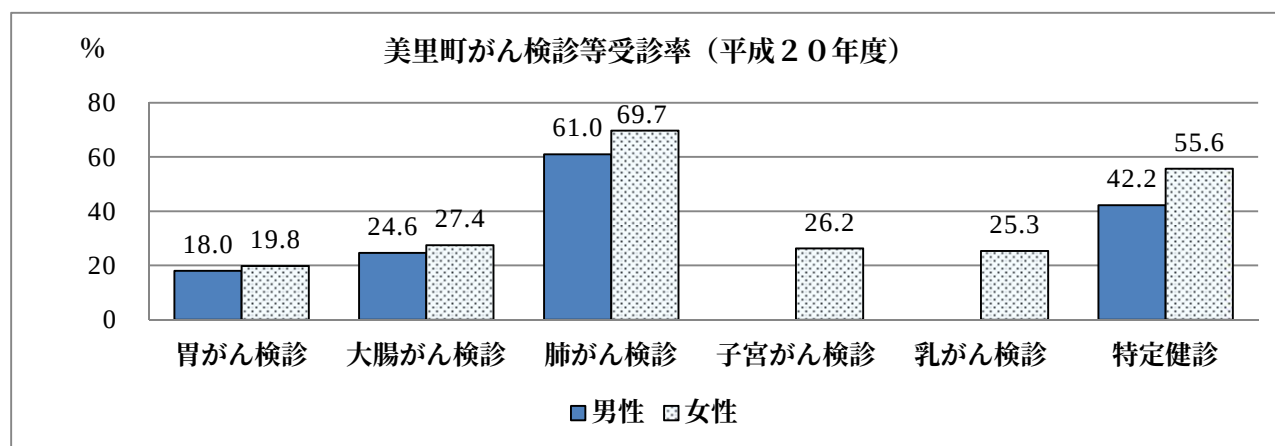
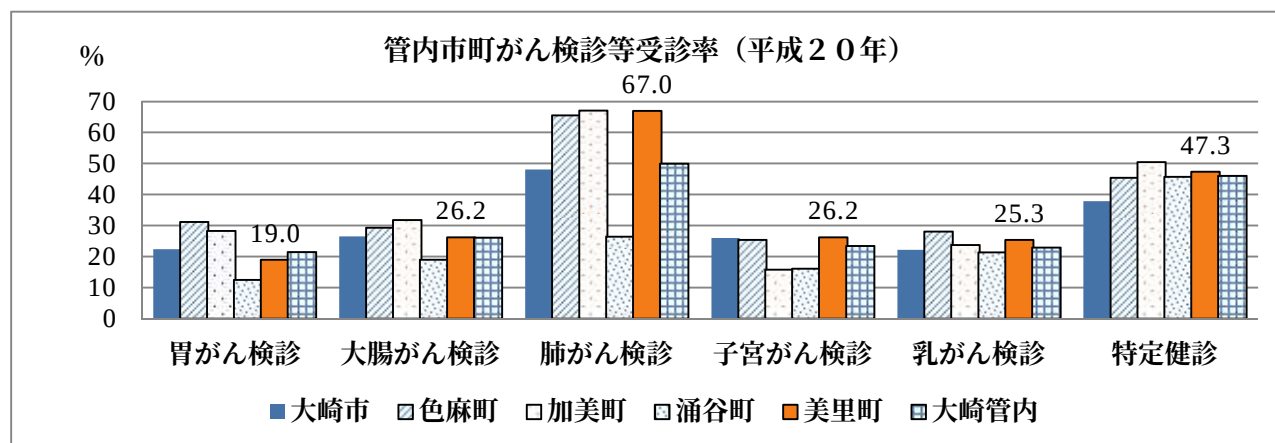
▼飲酒習慣（美里町町民健康調査）（%）

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
飲酒あり	50.0	66.9	71.8	82.2	68.0	68.1	39.1	45.9	39.3	26.1	20.7	33.6
毎日飲む	5.6	33.1	44.4	44.9	38.4	33.8	0.0	8.2	14.3	6.3	5.0	7.0
多量飲酒	0.9	13.6	6.8	7.6	0.8	5.9	0.0	2.5	2.1	0.0	0.0	0.9

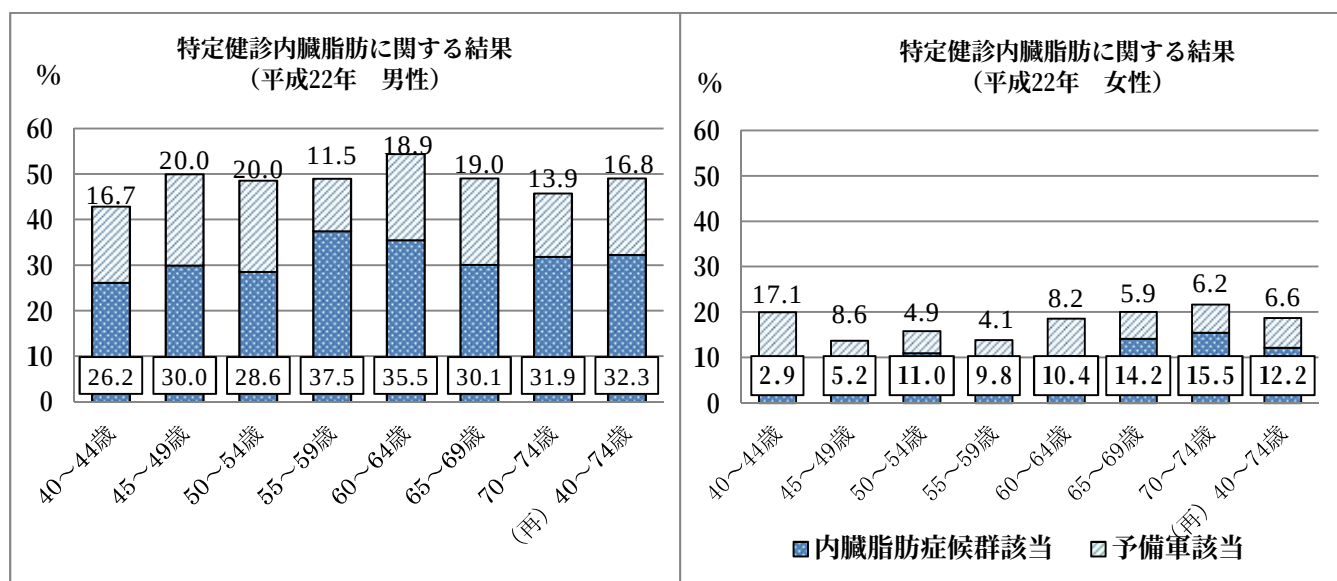
※多量飲酒＝週4回以上で1回3合以上飲酒する人

(3) 特定健診、がん検診の受診状況

がん検診の受診率は、管内で比較し高い傾向にあるのは肺がん検診で、胃がんや大腸がん検診は低い傾向にあります。性別にみると、男性が低い傾向にあります。



特定健康診査結果では、男性の49.1%、女性の18.8%が内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者または予備群となっています。



第3章 各論

1 重点項目別の取組と目標

重点項目1 栄養・食生活 食事は三食、おいしく、楽しく、適量で

(1) 目 標

- ◇ 体に良いかしこい食べ方を知り、身に付けよう
- ◇ 規則正しい生活を送ろう
- ◇ みんなで食事を楽しもう

(2) 現 状

- 主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの割合(朝食)は、3歳児56.7%、小学生26.1%、中学生30.5%となっており、平成19年調査より増加傾向です。また、成人で主食・主菜・副菜をそろえて食べるように意識している人の割合は、71.1%(男性62.1%、女性79.1%)となっており、県と同様に約7割以上の人が食事内容のバランスを意識して食事をしていることがうかがえます。
- 朝食欠食者(週に4～5日以上食べない人)の割合について、平成22年調査で小学生は0.8%、中学生は3.0%で、平成19年に比べ減少傾向であり、全国や県の数値よりも低くなっています。また、成人の朝食欠食者は平成22年調査で男女とも約1割ですが、年代別にみると20歳代は男女とも2割を超えており、他の年代より多い状況です。
- 朝7時までには起きる子どもの割合は、小学生98.4%、中学生97.3%となっており、大多数の子どもが起床時間については望ましい習慣を身につけています。
- 平日もしくは休日に誰かと一緒に食事をする子どもの割合(朝食)について、小学生は94.2%、中学生は76.6%となっており、中学生になると小学生より約2割減少しています。

(3) 取組の方向性

- 子どもの頃から望ましい食習慣を身に付けるため、保育所・幼稚園・学校等と連携をとりながら食育推進計画と連動した活動を行います。
- 子どもから高齢者まで全年代において健全な食生活を実践するため、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのとれた食事や規則正しい生活習慣の大切さを理解し、実践する町民の増加を目指します。
- 一人で食事をするより家族や友人と食卓を囲むことで、より食事を楽しむことに繋がります。誰かと一緒に食事をする子どもの増加や食事を楽しむ町民の増加を目指します。

(4) 目標値

	項 目	現状値 (H22)		目標値 (H33)
1	主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの増加 (朝食)	3 歳児 小学生 中学生	56.7% ¹⁾ 26.1% ²⁾ 30.5% ²⁾	62% 29% 34%
2	主食・主菜・副菜をそろえて食べるよう意識している人の増加	成人男性 成人女性	62.1% ³⁾ 79.1% ³⁾	68% 87%
3	朝食欠食者の減少	小学生 中学生 成人男性 成人女性	0.8% ²⁾ 3.0% ²⁾ 11.4% ³⁾ 9.3% ³⁾	0.8%以下 3.0%以下 10% 8%
4	朝 7 時までには起きる子どもの増加	小学生 中学生	98.4% ²⁾ 97.3% ²⁾	100%
5	誰かと一緒に食事をする子どもの増加 (朝食)	小学生 中学生	94.2% ⁴⁾ 76.6% ⁴⁾	100% 84%
6	食事を楽しいと思っている人の増加		平成 24 年 調査予定	-

出典：1) 平成 22 年度 3 歳児健康診査食事調査
 2) 平成 22 年小中学校食育に関するアンケート
 3) 平成 22 年町民健康調査
 4) 平成 21 年小中学校朝食アンケート

(5) 具体的な取り組み

- 基本的な生活習慣定着のための普及啓発活動を行います。
 - ・主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事の普及啓発
 - ・「はやね・はやおき・あさごはん」運動の推奨
- 生活習慣病予防のための学習機会の増加を目指します。
 - ・健康教室・栄養教室の実施
- 食に関心のある人の増加を目指します。
 - ・食に関するボランティアの養成及び育成
 - ・食に関する情報提供
- 仲間と楽しく食べる環境作りに努めます。
 - ・保育所や幼稚園での集団指導及び個別指導
 - ・小中学校単位での「食に関する指導の全体計画」の作成と実践
- 家庭や地域での取り組みを支援するための情報提供や保健指導の充実に努めます。
 - ・広報誌・ホームページ・給食便り等での情報提供
 - ・乳幼児健診での集団指導及び個別指導
- 町内の栄養士等による一貫した食育の指導・推進を行います。

重点項目２ 身体活動・運動 まず、からだを動かそう

（１）目 標

- ◇ 自分に合った方法であと 10 分身体を動かそう

（２）現 状

- 運動習慣（週に 2 回以上で 1 回 30 分以上の運動）のある人の割合は、男性 30.1%、女性 20.7%で、男女ともに平成 17 年健康調査からは増加傾向にありますが、全国の平均値男性 34.8%、女性 28.5%（国民健康・栄養調査の結果）と比べ、低い状況です。
- 国の国民健康・栄養調査の結果から、1 日の歩数の平均値は全国の男性 7,225 歩で宮城県は 6,479 歩の 40 位、女性は全国平均 6,287 歩で、宮城県は 5,791 歩の 38 位と宮城県は約 1,000 歩少ない状況です。
- 運動習慣のない人の約 8 割は、何かきっかけがあれば運動したいと思っており、実践の動機付けにつながるように取り組んでいく必要性があります。

（３）取組の方向性

- 自分に合った身体活動や運動量のめやすについて情報提供していきます。
- 生活習慣病予防のための身体活動・運動に関する知識を普及していきます。
- 子どもの時から、からだを動かすことを習慣化していくよう推進していきます。

（４）目 標 値

	項 目	現状値 (H22)	目標値 (H33)
7	定期的に運動している人の増加 (週に 2 回以上で 1 回 30 分以上の運動)	男性 30.1% ¹⁾ 女性 20.7% ¹⁾	35% 25%
8	日常生活の中で健康維持・増進のために意識的に 体を動かしている人の増加	男性 47.1% ¹⁾ 女性 49.8% ¹⁾	63% 63%
9	外遊びをする子ども（1 時間以上）の増加	2 歳児 84.5% ²⁾	90%

出典：1) 平成 22 年町民健康調査

2) 平成 22 年 2 歳児健診

（５）具体的な取り組み

- 身体活動・運動に関する知識の普及に努めます。
 - ・運動の必要性等について広報・パンフレット等による情報提供
 - ・健康教室等運動をテーマとした講座の開催
 - ・内臓脂肪症候群該当者、予備軍該当者に対する運動指導の実施
 - ・運動を続けるための運動施設等の情報提供
- 運動機能の発達を促し、運動習慣定着のための普及啓発活動を行います。
 - ・乳幼児健診での集団指導及び個別指導

重点項目3 歯の健康 生涯 自分の歯で食べよう

(1) 目 標

- ◇ こどもの虫歯を予防しよう
- ◇ 歯周病を予防し、残った歯を大切にしながらお口の機能を維持しよう

(2) 現 状

- 幼児の歯科疾患の状況としては、平成21年度では1歳6か月児の一人平均むし歯数は0.03本であり、全国平均や宮城県平均と比較すると少ない状況ですが、3歳児になると一人平均むし歯本数が2.0本となり、全国平均0.87本、宮城県平均1.36本と比べると多くなっています。平成22年度には3歳児一人平均むし歯本数が1.63本と減少傾向にはありますが、宮城県内では25位という状況です。3歳児でむし歯のない子の割合は、平成21年度では58.8%となっており、全国平均77.0%、宮城県平均68.3%と比べると少ない状況です。平成22年度には62.6%と少し増加しています。学童期では12歳児一人平均むし歯本数は2.44本であり、平成18年3.39本よりは減っているものの、全国平均1.4本、宮城県平均1.8本と比べると多い状況です。12歳児の歯肉や歯列・咬合に異常のある子の割合も、他県に比べ宮城県は多くなっています。
- 成人の歯科疾患の状況としては、平成19年度より歯周疾患健診に取り組んでいますが、平成21年度の受診率は5.1%となっており、宮城県平均8.5%と比べると低い状況です。要精検者は69.1%であり、県平均89.0%よりは少ないものの約7割の人が口腔内に何らかの所見を認められます。平成22年度には受診率4.1%、要精検者は92.3%となっています。60歳代で20本以上歯のある人は60.5%（平成22年度）となっており、宮城県平均と同じですが、全国平均64.1%（平成21年度）と比べると少ない状況です。60歳代で25本以上歯がある人は35.7%となっています。又、かかりつけ歯科医を持つ人の割合は47.7%（平成22年度）と、半数以下になっています。

(3) 取組の方向性

- 子どもの虫歯を予防するために、歯磨きの仕方や良いおやつの食べ方を習慣づけられるよう情報提供していきます。又、フッ化物の効用について正しい知識を提供していきます。
- 未処置の虫歯がその後の口腔内に与える影響について正しい知識を提供し、乳歯の時から適切に処置することの大切さを伝えていきます。
- 乳幼児期から、しっかり噛み五感を使ってよく味わう「食べ方」を身に付ける大切さを食育と一緒に伝えていきます。
- 歯周疾患予防のために歯周疾患健診を実施し、正しい知識を情報提供していきます。又、個人個人がかかりつけの歯科医師を持ち、定期的に自分の口腔内を確認し、歯石除去や歯面清掃を含めた適切な処置や指導を受けられるように、普及啓発をしていきます。
- 高齢期では残った歯を大切にしながらお口の機能を維持できるように、自分の口の状態に合った手入れの仕方について情報提供していきます。

(4) 目 標 値

	項 目	現状値 (H22)	目標値 (H33)
1 0	3歳児の一人平均むし歯数の減少	1. 6 3本 ¹⁾	1本以下
1 1	3歳児における虫歯のない子の増加	6 2. 6 % ¹⁾	8 0 %以上
1 2	1 2歳児の一人平均むし歯数（永久歯）の減少	2. 4 4本 ²⁾	1本以下
1 3	かかりつけの歯科医を持っている人の増加	4 7. 7 % ³⁾	7 0 %以上
1 4	6 0歳代で歯が2 5本以上ある人の増加	3 5. 7 % ³⁾	5 0 %以上

出典：1) 平成22年度3歳児健康診査

2) 平成21年度児童生徒の健康実態調査

3) 平成22年町民健康調査

(5) 具体的な取り組み

○乳幼児期・学童期・思春期

- ・乳幼児健診会場へのポスター掲示を行います。（美里町のむし歯の現状について、仕上げ磨きの仕方、良いおやつを選び方・食べ方等）
- ・1歳6か月児健診時に希望者へフッ化物塗布を実施し、保護者へフッ化物の応用についての正しい知識を伝達します。
- ・2歳児健診時に歯科医師・歯科衛生士による集団指導と、仕上げ磨きの実践をしていきます。
- ・各乳幼児健診を通して、歯磨きやきれいな口を育てる食べ方について伝えていきます。
- ・幼稚園・保育所・学校と連携し、むし歯予防教室等の出前講座を継続します。

○青年期・壮年期・高齢期

- ・歯周病について関心を持ち、理解できるように、歯周疾患健診の周知に努め、健康教育を行います。
- ・歯周疾患健診を実施し、口腔内を確認する機会にします。
- ・健診後に事後指導会を実施し、自分の口の状態に合った手入れ方法を学ぶ機会を提供します。
- ・歯磨きボランティアの養成や活動を行い、地域の中から歯科への関心を高めていけるよう努めます。
- ・口腔機能が低下傾向にある高齢者に対しては、寝たきりにならないための健康教育として、低栄養予防や嚥下機能を維持するための方法を学ぶ機会を提供します。

重点項目４ こころの健康づくり こころをつなげ、やさしい地域にしよう

(1) 目 標

◇ 声かけあい、気軽に相談できる人を増やそう

(2) 現 状

- 最近1か月間にストレスを感じた人の割合は、ほとんどの年齢でストレスをかかえて生活していることがうかがえます。その中で女性の20歳代から50歳代で70%を超え、男性も40歳代で70%を超えています。
- 悩み事を気軽に相談できる人がいる割合は、平成17年が43.5%であり平成22年は66.7%となっています。
- ここ1か月間に睡眠で休養が十分とれていない人の割合は、平成17年が27.4%であり平成22年は23.8%となり、20歳代から50歳代で多く見られます。
- 自殺者は、その年によりばらつきはありますが、県内でも死亡率が高い状況です。動機として健康問題や経済・生活問題の原因が多いといわれますが、美里町の実態は明確ではありません。また、残された家族の生活問題や身体的・精神的負担がありますが、相談にはほとんどつながりません。

(3) 取組の方向性

- こころの健康を理解し、地域の中でお互いに相談できる関係づくりを推進します。
- 相談できるように関係機関のつながりを充実させます。

(4) 目 標 値

	項 目	現状値 (H22)	目標値 (H33)
15	気軽に相談できる人の増加	66.7% ¹⁾	100%
16	睡眠で休養がとれない人の減少	23.8% ¹⁾	21%以下
17	自殺者数の減少	11人 ²⁾	5人以下

出典：1) 平成22年町民健康調査
2) 衛生統計年報

(5) 具体的な取り組み

- ストレスとこころの関係、こころの病気について身近にとらえられるように啓発します。
 - ・地区の健康教育の実施
- 早期に気づき相談できるように相談窓口の周知をします。
 - ・精神保健相談や親と子のこころの相談事業の実施及び他機関で行っている相談窓口の周知
- 住民の皆さんに接する関係機関がこころの病気を理解し、支援につながるように連携します。
 - ・地区組織や庁舎内の研修の実施
- 自殺者の実態や傾向、残された家族の抱える問題について、情報を収集・分析し具体的な支援に繋がります。
 - ・統計、報告書などの資料収集や事例の分析など

重点項目5-1 たばこ 喫煙人口を減少しよう

(1) 目 標

◇たばこの健康への影響を理解しよう。

◇喫煙人口を減少しよう。

(2) 現 状

- 「喫煙の健康に与える影響の認知度」は、指標の4項目において36.8%～72.3%となっており、特に気管支炎は平成17年に比べ36.8%増加しました。
- 「喫煙人口」について、たばこを「毎日吸う」「時々吸う」と回答した人は、男性が56.7%から50.5%に、女性は17.8%から13.4%となり、喫煙人口は男女ともに平成17年より低下しています。また、喫煙している人で「たばこをやめたい」「本数を減らしたい」と考えている人は、男性より女性に多くみられますが、男女を合わせてみても7割を超えています。そのうち禁煙指導を「ぜひ受けたい」「時間帯が可能ならば」と回答した人は約5割を占めています。
- 「母子健康手帳交付時の喫煙率」については7.9%から3.7%に減少し、妊娠をきっかけに禁煙する人もみられていますが少数です。

(3) 取組の方向性

- 子どもや妊婦に、たばこが与える影響について正しい知識を提供していきます。
- 全身の病気とたばこの害に関する正しい知識の普及を行います。
- 禁煙希望者に対しては、相談窓口や禁煙外来を実施している医療機関等について紹介していきます。

(4) 目 標 値

	項 目	現状値 (H22 年)		目標値 (H33 年)
18	喫煙人口の減少	(男性) (女性)	50.5% ¹⁾ 13.4%	45% 12%
19	喫煙の健康への影響についての認知度	肺がん ぜんそく 気管支炎 心臓病 脳卒中 胃潰瘍 妊娠等 歯周病	89.9% ¹⁾ 69.6% 72.3% 52.6% 59.4% 36.8% 88.2% 48.9%	80%以上

出典：1) 平成22年町民健康調査

(5) 具体的な取り組み

- 母子健康手帳交付時の保健指導の継続
- 産婦訪問及び乳児健診等における喫煙状況の把握と正しい知識の提供
- 健診会場や各地区館へのポスター等の掲示
- 分煙推進に向けた各地区館の実態把握と情報の発信（健康かわら版の活用等）
- 禁煙支援対策として、相談窓口や医療機関についての情報提供

重点項目5-2 アルコール アルコールは適量で楽しもう

(1) 目 標

- ◇アルコールの健康への影響を理解しよう
- ◇アルコールは適度に楽しもう

(2) 現 状

- 毎日飲酒している人は、男性は33.8%、女性は7.0%となっており、年代別にみると40歳代が一番多くなっています。
- 多量飲酒者（※1）は、男性は平成17年と比べると減少しており、女性はやや増加傾向にあります。また、週4日以上1日3合以上飲んでいる人の割合をみると、全体では3.3%ですが、性別でみると男性に多く、年代別でみると男女ともに30歳代に多い傾向にあります。
- 休肝日を作っている人は、男女ともに平成17年より増加しており、週3日以内の飲酒として
いる人は、20～30歳代の男女に多く全体の4割を占めています。
- 飲酒の習慣化により、身体問題だけでなく、うつ病や不眠との関係やアルコール依存症な関連
する問題もみられています。

(3) 取組の方向性

- 多量飲酒の健康への影響や適性な飲酒量について、正しい知識の普及と啓発を行っていきます。
- アルコールに関する問題の相談窓口を紹介し、早期に医療機関につながるよう支援していきま
す。

(4) 目 標 値

	項 目	現状値 (H22 年)		目標値 (H33 年)
20	多量飲酒者の減少	男性	5.8% ¹⁾	5%以下
		女性	0.9%	0.3%以下
21	節度ある適度な飲酒（※2）を知っている人の増加		44.8% ¹⁾	75%以上

出典：1）平成22年度町民健康調査

（※1）多量飲酒者：週4日以上かつ1日3合以上（1日に純アルコールで60g以上）飲酒する人と定義して
います。

（※2）節度ある適度な飲酒：「健康日本21」では、適量として、日本酒に換算して1日1合程度（1日に純
アルコールで20g程度」と定義しています。

(5) 具体的な取り組み

- アルコールに関する正しい知識と情報の提供に努めます。
 - ・地区健康教育
 - ・健康診査後の保健指導
 - ・町の健診場面や広報を利用したPR等
- 気軽に相談できる環境づくりに努めます。
 - ・相談窓口等の紹介

重点項目6 生活習慣病 がん・糖尿病・高血圧を予防しよう

(1) 目 標

- ◇ 健康診査やがん検診を受けよう
- ◇ 肥満を予防しよう
- ◇ 血圧を正常値でコントロールし合併症を予防しよう

(2) 現 状

- がん、脳卒中、心疾患は美里町の死因の上位を占める疾患です。
がんが死亡原因の第1位で、死亡率は宮城県や大崎管内より高い傾向で推移しています。宮城県や大崎管内と比較してがんによる死亡率が多いのは、男性は胃がん、女性は大腸がん、乳がんとなっています。がん検診受診率は、管内で比較して胃がんや大腸がん検診は低い状況となっています。
- 40歳から64歳までの介護保険2号被保険者の要介護認定者の原因疾患は、高血圧や糖尿病による脳卒中が多くなっており、若年層からの予防が必要です。
- 国民健康保険の受診状況をみると、50歳代以降になると受診者の半数以上の人が生生活習慣病による受診となっており、特に高血圧症による受診が多くなっています。医療費では、短期間の入院でも高額になりやすい疾病は、高血圧や糖尿病を基礎疾患にもつ心疾患やがんです。外来で高額になりやすい疾病は腎不全で、基礎疾患として糖尿病や高血圧、高脂血症を合併している人が多い状況です。
- 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の状況は、国民健康保険被保険者対象の特定健康診査の結果では、受診者の32.0%（男性の49.1%、女性の18.8%）、社会保険被保険者等を含む人間ドック受診者の状況も同様で、受診者の35.0%（男性の49.4%、女性の15.3%）が該当者または予備軍となっており、男性に多い傾向です。（平成22年度結果より）。
- 小・中学生の肥満者は減少してきていますが、成人の肥満者は男性の29.2%、女性の22.3%で、年代別にみても女性より男性に肥満者が多い状況です。国の国民健康・栄養調査の結果から、肥満者（男性）の割合は、全国平均の31.1%、宮城県平均の39.5%と比べ低くなっています。
- 国の国民健康・栄養調査の結果から、食塩摂取量は全国平均男性11.8g/日、女性10.1g/日で、宮城県は男性12.5g/日の7位、女性10.7g/日の9位と全国の上位という状況です。

上記の状況から、循環器疾患発症の原因となる肥満や食塩摂取量等については継続して対策を講じていく必要があります。

(3) 取組の方向性

- 生活習慣病予防のための正しい知識と生活習慣改善の方法について普及啓発をします。
- 自分の健康状態を把握し、生活習慣を見直す機会とするよう健診・がん検診の受診率の向上を目指します。
- 健診結果に基づき、生活習慣病、特に合併症の基礎疾患になりやすい高血圧症や糖尿病の重症化を予防するよう受診勧奨等に努めます。

(4) 目標値

	項目	現状値 (H22)		目標値 (H33)
2 2	健康診査・がん検診受診率の増加	胃がん検診 (40歳以上)	15.3% ¹⁾	30%
		肺がん検診 (40才以上)	59.1% ¹⁾	70%
		大腸がん検診 (40歳以上)	25.7% ¹⁾	40%
		乳がん検診 (40歳以上)	27.1% ¹⁾	40%
		子宮がん検診 (20歳以上)	29.1% ¹⁾	40%
		特定健康診査	44.6% ²⁾	55%
2 3	肥満者の割合の減	働き盛り世代(20～60歳代)の男性	29.2% ³⁾	26%
2 4	自分がちょうど良いと思っている体重に近づく(維持する)ようにしている人の割合の増加	男性	59.6% ³⁾	66%
		女性	74.4% ³⁾	82%
2 5	血圧の正常値を知っている人の割合の増加		77.1% ³⁾	85%
2 6	内臓脂肪症候群有所見者の割合の減少	男性	49.1% ³⁾	44%
		女性	18.8% ³⁾	17%
2 7	生活習慣病予防に関する健康教室等実施回数の増加		73回 ⁴⁾	80回

出典：1) 地域保健・健康増進事業報告

2) 平成22年特定健康診査法定報告

3) 平成22年町民健康調査

4) 平成22年保健事業実績

(5) 具体的な取り組み

○生活習慣病予防に関する知識や意識の向上を図る普及啓発活動を行います。

- ・広報等による普及啓発
- ・生活習慣病予防に関する健康教室・栄養教室の実施
- ・健康づくりのための食育活動の推進

○健康診査・がん検診の受診勧奨に努めます。

- ・健康診査・がん検診の意義・重要性等の周知、啓発
- ・受診者増に向けた受診しやすい体制作り等の取り組み

○健康診査・がん検診の有所見者の支援・重症化予防に取り組みます。

- ・健康診査有所見者への生活習慣改善のための動機付けや実践への支援(特定保健指導、家庭訪問など)
- ・がん検診要精検者への受診勧奨と受診状況の確認

2 数値目標の一覧

重点項目	目標			現状値 (平成22年)	目標値 (平成33年)	(調査名)	※県目標値 増進:H22 歯と口腔:H28 食育:H27
栄養・食生活	1	主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの増加	3歳児	56.7%	62%	3歳児健診 食事調査	
			小学校	26.1%	29%	食育に関する アンケート	
			中学校	30.5%	34%		
	2	主食・主菜・副菜をそろえて食べるように意識している人の増加	男性	62.10%	68%	町民健康調査	食育:75%
			女性	79.1%	87%		
	3	朝食の欠食者の減少	小学生	0.8%	0.8%以下	食育に関する アンケート	食育:2%以下 (小6)
			中学生	3.0%	3.0%以下		
			成人男性	11.4%	10%	町民健康調査	食育:23%以下 (20~30代男性)
			成人女性	9.3%	8%		
	4	朝7時までに起きる子どもの割合の増加	小学校	97.5%	100%	食育に関する アンケート	
			中学校	96.4%	100%		
	5	家族の誰かと一緒に食事をする子どもの増加	小学校	92.4%	100%	食育に関するアンケート	
			中学校	76.6%	82%		
	6	食事を楽しいと思っている人の割合	成人	H24調査			
身体活動・運動	7	外で遊ぶ子の増加(1時間以上外遊びをする児)	2歳児	84.5%	90%	幼児健康診査	
	8	定期的に運動している人の増加 (週に2回以上で1回30分以上)	成人男性	30.1%	35%	町民健康調査	増進:41%以上
			成人女性	20.7%	25%		増進:41%以上
	9	日常生活の中で健康維持・増進のために意識的に体を動かしている人の増加	成人男性	47.1%	63%	町民健康調査	増進:63%以上
			成人女性	49.8%	63%		
歯の健康	10	3歳児の一人平均むし歯数の減少	3歳児	1.63本	1本以下	3歳児 歯科健康診査	歯と口腔: 1本以下
	11	3歳児におけるむし歯のない子の増加	3歳児	62.6%	80%以上	3歳児 歯科健康診査	歯と口腔: 80%以上
	12	12歳の一人平均むし歯本数の減少	中学1年	2.44本	1本以下	児童生徒の健康実 態調査	歯と口腔: 1本以下
	13	かかりつけの歯科医を持っている人の増加	成人	47.7%	70%以上	町民健康調査	歯と口腔: 70%以上
	14	60歳代で歯が25本以上の人の増加	60歳代	35.7%	50%以上	町民健康調査	歯と口腔: 60歳で25本以上 50%以上
こころの健康づくり	15	気軽に相談できる人の増加	成人男性	55.1%	100%	町民健康調査	増進:100%
			成人女性	77.0%	100%		
	16	睡眠で休養がとれない人の減少	成人	23.8%	21%以下	町民健康調査	増進:13%以下
	17	自殺者数の減少		11人	5人以下	衛生統計	増進:580人以下

重点項目	目標			現状値 (平成22年)	目標値 (平成33年)	(調査名)	※県目標値 増進:H22 歯と口腔:H28 食育:H27
たばこ・アルコール	18	喫煙人口の減少	成人男性	50.5%	45%	町民健康調査	
			成人女性	13.4%	12%		
	19	喫煙の健康への影響についての認知度の増加	肺がん	89.9%	80%以上	町民健康調査	増進:100%
			喘息	69.6%			
			気管支炎	72.3%			
			心臓病	52.6%			
			脳卒中	59.4%			
			胃潰瘍	36.8%			
			妊娠への影響	88.2%			
			歯周病	48.9%			
	20	多量飲酒者の減少	成人男性	5.8%	5%以下	町民健康調査	増進:7%以下
			成人女性	0.9%	0.3%以下		増進:0.3%以下
	21	節度ある適量の飲酒を知っている人の増加		44.8%	75%以上	町民健康調査	増進:100%
生活習慣病	22	健康診査・がん検診の受診率の増加	胃がん	15.3%	30%	地域保健・健康増進事業報告	増進:70%以上
			肺がん	59.1%	70%		
			大腸がん	25.7%	40%		
			乳がん	27.1%	40%		
			子宮がん	29.1%	40%		
			特定健康診査	44.6%	55%	特定健康診査	
	23	働き盛り世代(20～60代)男性の肥満者(BMI25以上)の減少		29.2%	26%	町民健康調査	増進:30代以上男性25%以下、40代以上女性25%以下
	24	自分がちょうど良いと思っている体重に近づく(維持する)よう心がけたり努力をしたりしている人の増加	成人男性	59.6%	65%	町民健康調査	
			成人女性	74.4%	80%		
	25	血圧の正常値を知っている人の増加		77.1%	85%	町民健康調査	増進:80%以上
	26	内臓脂肪症候群有所見者の減少	成人男性	49.1%	44%	特定健康診査	増進:10%減少
			成人女性	18.8%	17%		
	27	生活習慣病予防に関する健康教室等実施回数		73回	80回	保健事業報告	

※県目標値出典計画名

増進:みやぎ21健康プラン(計画期間:平成14年度～平成24年度)

歯と口腔:宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画(計画期間:平成23年～平成29年度)

食育:第2期宮城県食育推進プラン(平成23年度～平成27年度)

第 4 章 資料

- 目標値設定の考え方 2 5
- 平成 22 年度町民健康調査の概要 2 7
- 第 1 期目標達成状況の評価と第 2 期目標の比較 . . . 3 7
- 美里町の現状分析用統計表 4 1
- 美里町健康づくり推進協議会条例・委員名簿 5 2

● 数値目標の一覧と目標設定の考え方

重点項目	目標			現状値 (平成22年)	目標値 (平成33年)	目標値設定の考え方	(調査名)	※県目標値 増進: H22 歯と口腔: H28 食育: H27
栄養・食生活	1	主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの増加	3歳児	56.7%	62%	H22現状値の1割増	3歳児健診食事調査	
			小学校	26.1%	29%		食育に関するアンケート	
			中学校	30.5%	34%			
	2	主食・主菜・副菜をそろえて食べるように意識している人の増加	男性	62.10%	68%	宮城県食育プラン目標値75%を目指し、男女それぞれH22現状値の1割増を目指す	町民健康調査	食育: 75%
			女性	79.1%	87%			
	3	朝食の欠食者の減少	小学生	0.8%	0.8%以下	今後増加しないことを目指す	食育に関するアンケート	食育: 2%以下 (小6)
			中学生	3.0%	3.0%以下	今後増加しないことを目指す		
			成人男性	11.4%	10%	H22現状値の1割減	町民健康調査	食育: 23%以下 (20～30代男性)
			成人女性	9.3%	8%	H22現状値の1割減		
	4	朝7時まで起きる子どもの割合の増加	小学校	97.5%	100%	早起き習慣の定着	食育に関するアンケート	
			中学校	96.4%	100%			
	5	家族の誰かと一緒に食事をする子どもの増加	小学校	92.4%	100%	H22現状値の1割増	食育に関するアンケート	
			中学校	76.6%	82%	H22現状値の1割増		
	6	食事を楽しいと思っている人の割合	成人	H24調査				
身体活動・運動	7	外で遊ぶ子の増加(1時間以上外遊びをする児)	2歳児	84.5%	90%	幼少期からの活動量を上げることを目指す	幼児健康診査	
	8	定期的に運動している人の増加 (週に2回以上で1回30分以上)	成人男性	30.1%	35%	きっかけがあれば運動したいと思っている人の5%を実践に結び付けることを目指す	町民健康調査	増進: 41%以上
			成人女性	20.7%	25%			増進: 41%以上
	9	日常生活の中で健康維持・増進のために意識的に体を動かしている人の増加	成人男性	47.1%	63%	みやぎ21健康プランの目標値を目指す	町民健康調査	増進: 63%以上
			成人女性	49.8%	63%			
歯の健康	10	3歳児の一人平均むし歯数の減少	3歳児	1.63本	1本以下	宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画目標値を目指す	3歳児歯科健康診査	歯と口腔: 1本以下
	11	3歳児におけるむし歯のない子の増加	3歳児	62.6%	80%以上		3歳児歯科健康診査	歯と口腔: 80%以上
	12	12歳の一人平均むし歯本数の減少	中学1年	2.44本	1本以下		児童生徒の健康実態調査	歯と口腔: 1本以下
	13	かかりつけの歯科医を持っている人の増加	成人	47.7%	70%以上		町民健康調査	歯と口腔: 70%以上
	14	60歳代で歯が25本以上の人の増加	60歳代	35.7%	50%以上		町民健康調査	歯と口腔: 60歳で25本以上50%以上
こころの健康づくり	15	気軽に相談できる人の増加	成人男性	55.1%	100%	みやぎ21健康プランの目標値を目指す	町民健康調査	増進: 100%
			成人女性	77.0%	100%			
	16	睡眠で休養がとれない人の減少	成人	23.8%	21%以下	H22現状値の1割減	町民健康調査	増進: 13%以下
	17	自殺者数の減少		11人	5人以下	過去10年の最低値	衛生統計	増進: 580人以下

重点項目	目標		現状値 (平成22年)	目標値 (平成33年)	目標値設定の考え方	(調査名)	※県目標値 増進：H22 歯と口腔：H28 食育：H27	
たばこ・アルコール	18 喫煙人口の減少	成人男性	50.5%	45%	禁煙したいと思っている人が禁煙につながることを目指し、現状値の1割減	町民健康調査		
		成人女性	13.4%	12%				
	19 喫煙の健康への影響についての認知度の増加	肺がん	89.9%	80%以上	みやぎ21健康プランの目標値を目指しながら、「関心がない」「わからない」人の理解を深め増加を目指す	町民健康調査	増進：100%	
		喘息	69.6%					
		気管支炎	72.3%					
		心臓病	52.6%					
		脳卒中	59.4%					
		胃潰瘍	36.8%					
		妊娠への影響	88.2%					
		歯周病	48.9%					
	20 多量飲酒者の減少	成人男性	5.8%	5%以下	現状以下でみやぎ21健康プランの目標値クリアを継続する	町民健康調査	増進：7%以下	
		成人女性	0.9%	0.3%以下	みやぎ21健康プランの目標値を目指す		増進：0.3%以下	
	21 節度ある適量の飲酒を知っている人の増加		44.8%	75%以上	適切な飲酒量を知らない人の理解を深め、みやぎ21健康プランの目標値を目指す	町民健康調査	増進：100%	
生活習慣病	22 健康診査・がん検診の受診率の増加	胃がん	15.3%	30%	みやぎ21健康プランでは70%以上を目標としているが、美里町の現状を踏まえ増加をめざす	地域保健・健康増進事業報告	増進：70%以上	
		大腸がん	25.7%	40%				
		乳がん	27.1%	40%				
		子宮がん	29.1%	40%				
		肺がん	59.1%	70%	みやぎ21健康プランの目標値を目指す	特定健康診査		
		特定健康診査	44.6%	55%	美里町総合計画目標値を踏まえ増加を目指す			
	23 働き盛り世代(20～60代)男性の肥満者(BMI25以上)の減少		29.2%	26%	現状値からの1割減	町民健康調査	増進：30代以上男性25%以下、40代以上女性25%以下	
	24 自分がちょうど良いと思っている体重に近づく(維持する)よう心がけたり努力をしたりしている人の増加	成人男性	59.6%	65%	現状値の1割増	町民健康調査		
		成人女性	74.4%	80%				
	25 血圧の正常値を知っている人の増加		77.1%	85%	現状値の1割増	町民健康調査	増進：80%以上	
	26 内臓脂肪症候群有所見者の減少	成人男性	49.1%	44%	現状値の1割減	特定健康診査	増進：10%減少	
		成人女性	18.8%	17%				
	27 生活習慣病予防に関する健康教室等実施回数		73回	80回	現状を維持しながら、地区での健康教室の回数の増を図る	保健事業報告		

※県目標値出典計画名

増進：みやぎ21健康プラン(計画期間：平成14年度～平成24年度)

歯と口腔：宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画(計画期間：平成23年～平成29年度)

食育：第2期宮城県食育推進プラン(平成23年度から平成27年度)

平成 22 年度町民健康調査結果

I 調査概要

1. 調査目的

この調査は、町民の健康に関する意識や食生活、運動等に関する実態及課題を把握し、美里町健康増進計画の見直しの基礎資料として活用する。

2. 調査実施機関

美里町健康福祉課

3. 調査対象

性別、年代別に無作為抽出した 20 歳以上の町民 1,373 人を調査対象に行い、1,257 人の回収（回収率 91.6%）有効回答数 1,249 人（有効回答率 99.6%）であった。

表 1 健康調査票回収数

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	合計
男（人）	111	118	117	118	125	589
女（人）	112	122	142	142	142	660
合計（人）	223	240	259	260	267	1,249
割合（%）	17.9	19.2	20.7	20.8	21.4	100

4. 調査項目

県・国の動きや計画、調査等との整合性を図りながら、美里町健康増進計画等策定時の項目を基本とし、継続評価できる項目で実施した。

① 身体状況・健康 ②身体活動・運動 ③食生活 ④歯 ⑤休養 ⑥お酒 ⑦たばこ ⑧医療等の受診状況 ⑨健康増進計画について

5. 調査時期

平成 22 年 7 月

6. 調査方法

- ① 無記名の自記入式質問調査票を作成し、美里町健康協力員が配布する。
- ② 回収用封筒に調査票を入れ、封をした状態で美里町健康協力員に回収してもらい、回収した封筒のまま担当課へ提出してもらう。

II 結果の概要

① 身体状況・健康について

●肥満及びやせの状況

肥満者（BMI 25以上）の割合は、男性約3割、女性約2割で、平成17年調査とほぼ同じであった。

図1 肥満度の状況①

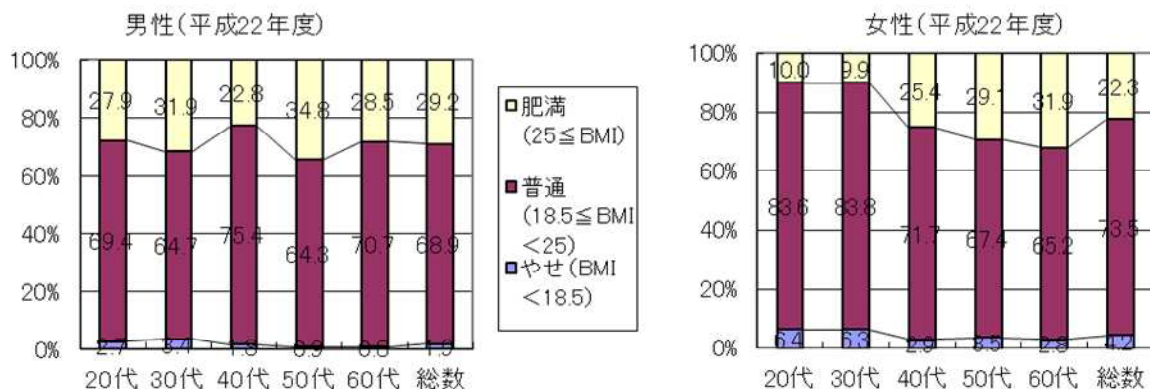


表1 肥満度の状況②BMI 25以上の人の割合

	平成17年	平成22年
男性 (%)	31.7	29.2
女性 (%)	20.0	22.3

●健康状態

この1か月間の自分の健康状態を、「あまりよくない」「よくない」と回答した人の割合は、男性より女性が高かったが、平成17年より、男女とも減少している。

適正体重に近づけようと心がけている人は男性6割女性7割、自分の血圧値や血圧の正常値を知っている人は男女とも7割と健康づくりの意識を持って取り組む人が増えてきている。

図2 自分の健康状態の意識

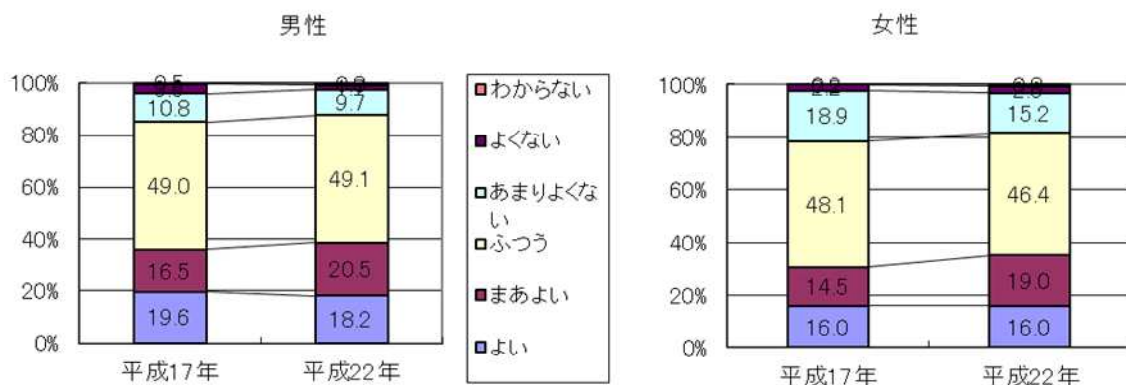


表2 自分の健康状態を「よくない・あまりよくない」と思う人の割合 (%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	合計
平成17年	16.3	16.4	15.3	11.3	13.8	14.4	19.2	22.2	22.7	22.4	18.7	21.2
平成22年	10.8	9.3	13.7	11.0	12.0	11.4	15.2	19.0	22.5	15.5	16.4	17.8

表3 自分がちょうど良いと思っている体重に近づく（維持する）よう心がけたり努力している人の割合 (%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	合計
平成17年	44.6	36.2	42.8	52.9	53.8	46.9	46.4	67.2	65.3	66.7	69.3	63.7
平成22年	48.6	58.5	55.2	67.5	67.2	59.6	67.6	71.9	76.1	70.4	84.3	74.4

表4 自分の血圧を知っている人の割合 (%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	合計
平成17年	41.0	56.1	76.8	77.7	94.8	70.1	42.6	67.2	80.4	88.7	88.4	76.3
平成22年	34.5	51.3	72.8	83.5	94.1	76.2	36.9	67.8	80.7	88.4	93.2	75.0

表5 正常血圧値が139mmHg以下／89mmHg以下と知っている人の割合 (%)

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	合計
平成17年	47.0	52.6	78.3	73.5	71.8	65.8	45.6	75.2	74.0	83.6	78.4	72.7
平成22年	54.1	65.5	76.3	87.8	84.9	73.9	54.5	74.4	85.6	89.8	90.0	79.8

② 身体活動・運動について

運動習慣のある人は、男性約3割、女性約2割で、特に、60歳代が運動習慣のある人の割合が増えた。

運動習慣のない人の約8割は、何かきっかけがあれば運動したいと思っている。

図3 運動習慣（週2回以上、1回30分以上の運動を継続している人）のある人の割合

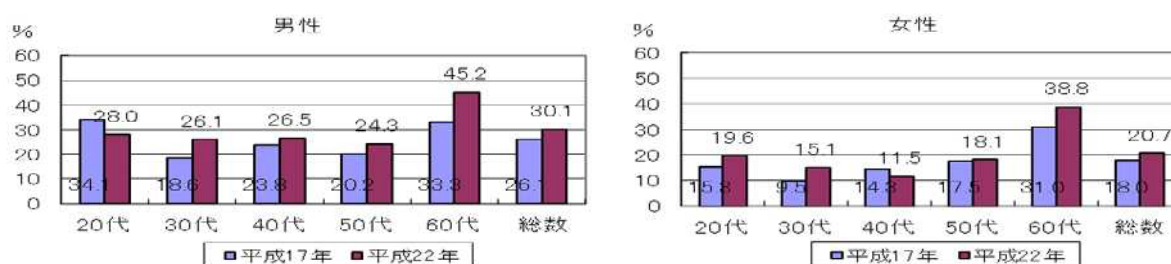
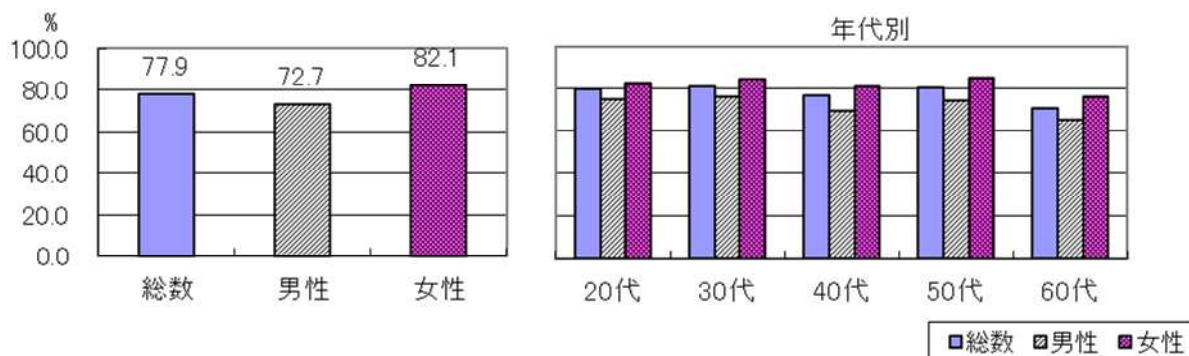


図4 何かきっかけがあれば運動をしたいと思う人の割合（運動習慣のない人のみ）



③ 食生活について

●朝食の欠食率

朝食を欠食する人の割合は、男女とも20歳代で高く、平成17年より増加した。

図5 朝食の摂取状況

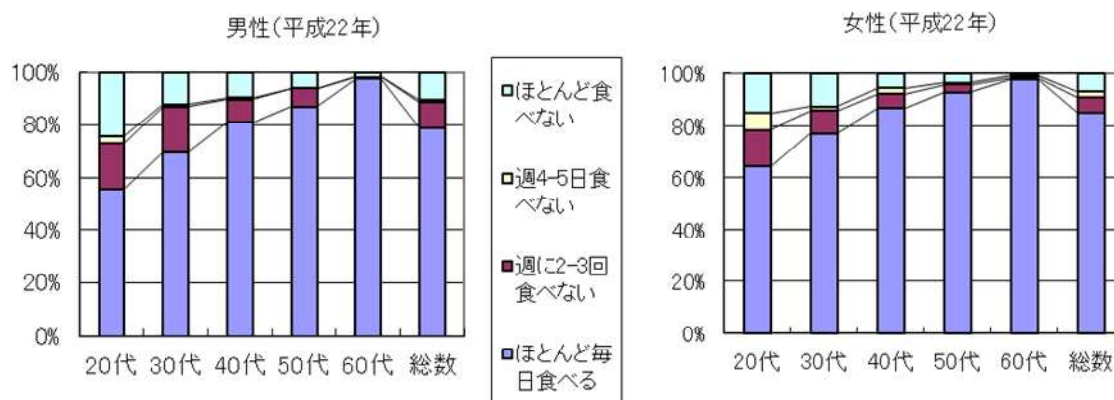
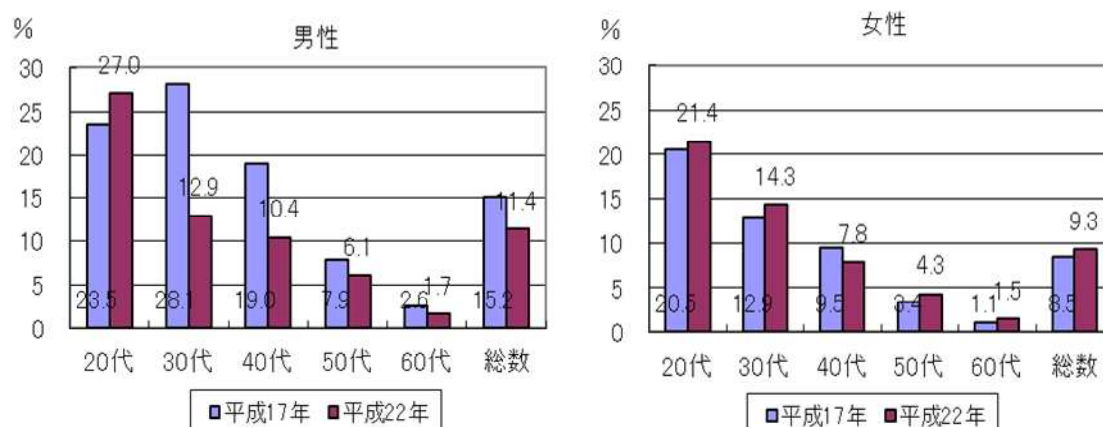


図6 朝食を週4～5回以上欠食する人の割合（年代別）



●外食の利用率

外食の利用者は、平成17年に比べ男女とも減少しているが、20～50歳代の男性の約2割は毎日1回以上利用している。

図7 外食の利用頻度

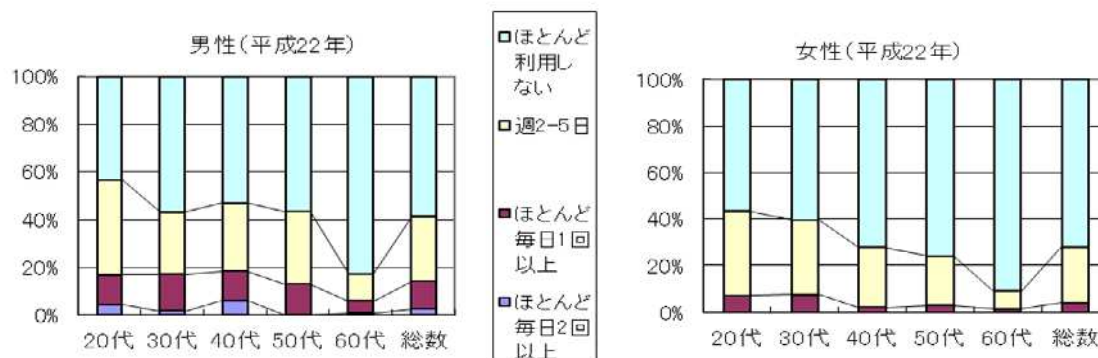
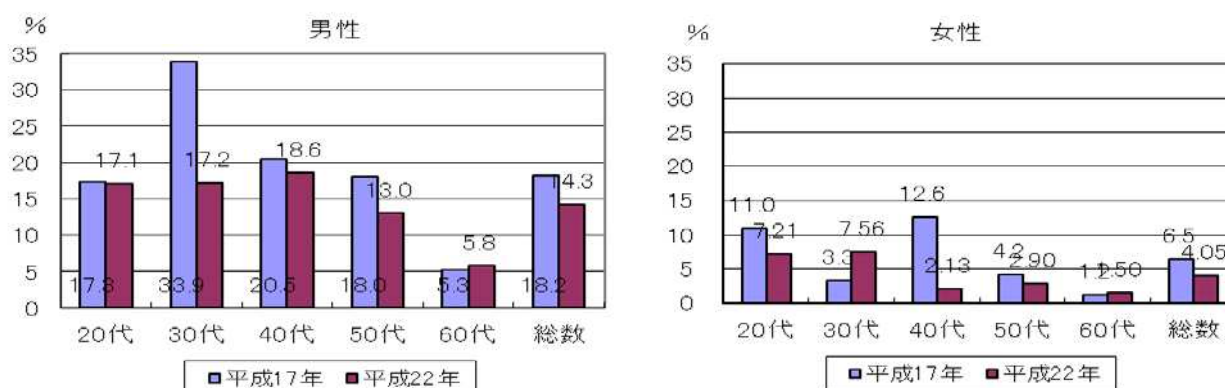


図8 外食を毎日1回以上利用している人の割合



●食生活への意識

食生活に問題があると感じている人が、平成17年に比べやや増加しており、50～60歳代で増加した。

主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合は、平成17年に比べ増加しており、女性の40歳代以降の人の8割以上が意識して食べるようにしている。

図8 自分の食生活を動かすか

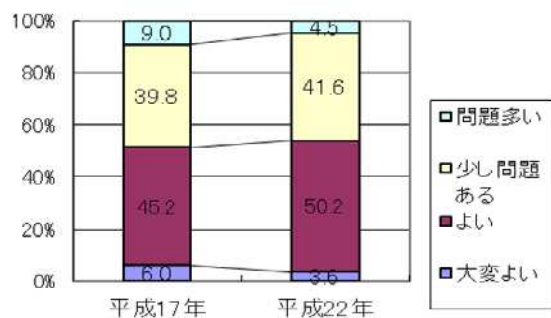
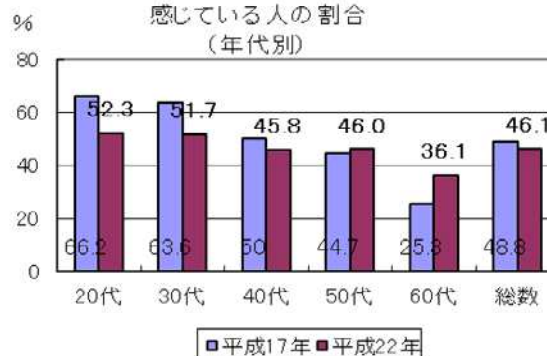
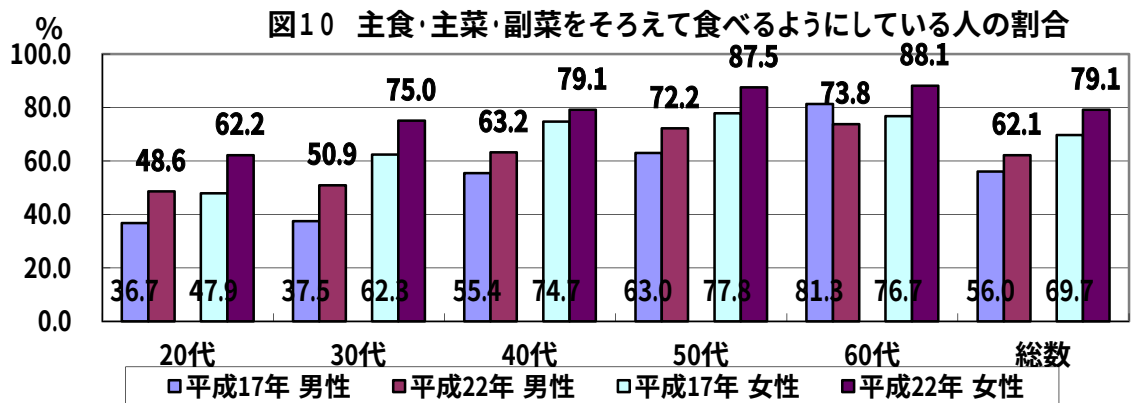


図9 食生活に問題があると
感じている人の割合
(年代別)

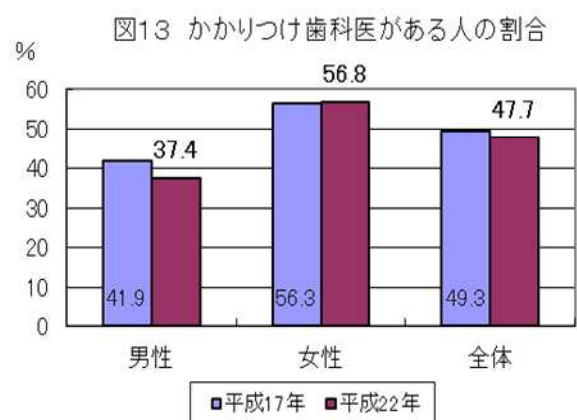
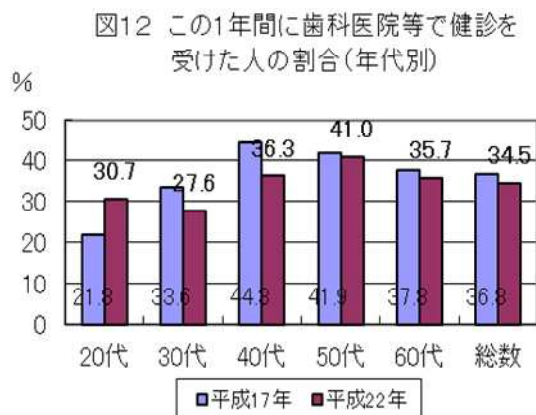
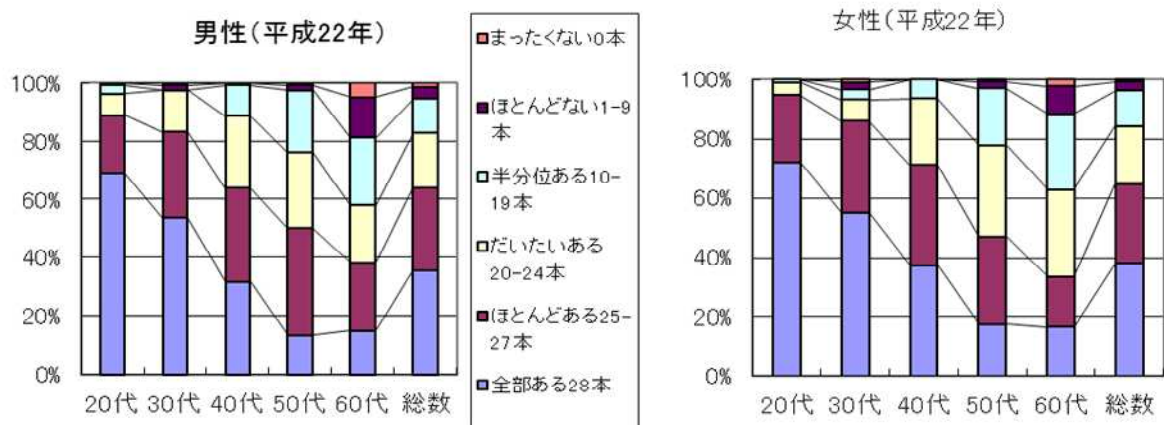




④ 歯について

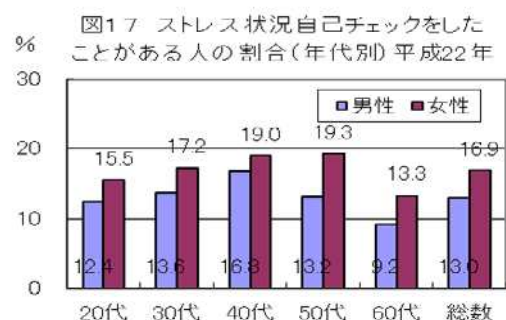
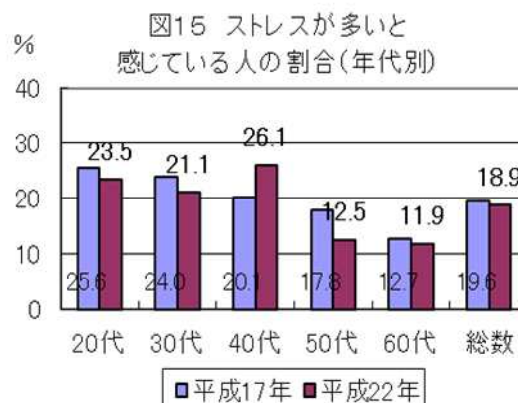
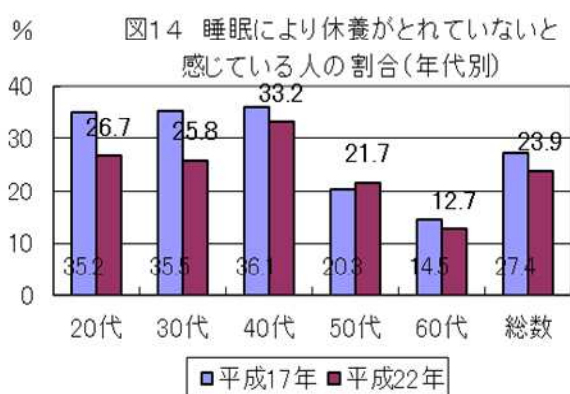
この1年間に歯科医院等で健診を受けた人の割合は、30～40歳代では、平成17年に比べ減少した。かかりつけ歯科医がある人の割合は、全体ではやや増加した。

図11 歯の状態



⑤ 休養について

睡眠により休養がとれていないと感じている人と、ストレスが多いと感じている人の割合は、40歳代が高かった。悩みなどを気軽に相談できる相手がいると答えた人は、約7割いたが、年代別にみると40歳代がやや低かった。



⑥ お酒について

飲酒の習慣がある人の割合は平成17年とほぼ同じであったが、男性の多量飲酒者の割合は減少した。飲酒習慣がある人の内、多量飲酒(週4日以上1日3合以上)の割合が高いのは、30歳代の男性であった。

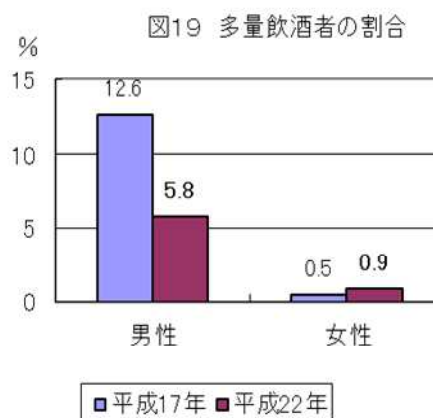
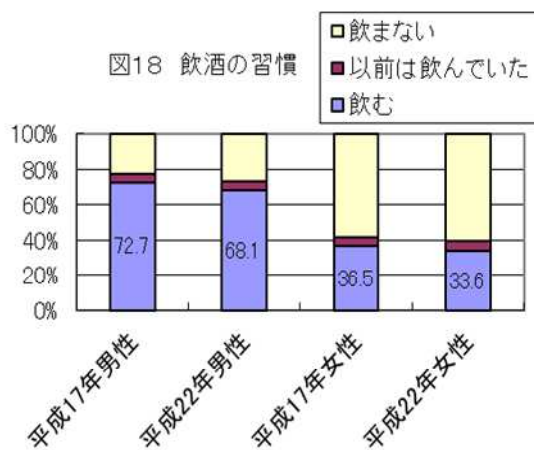
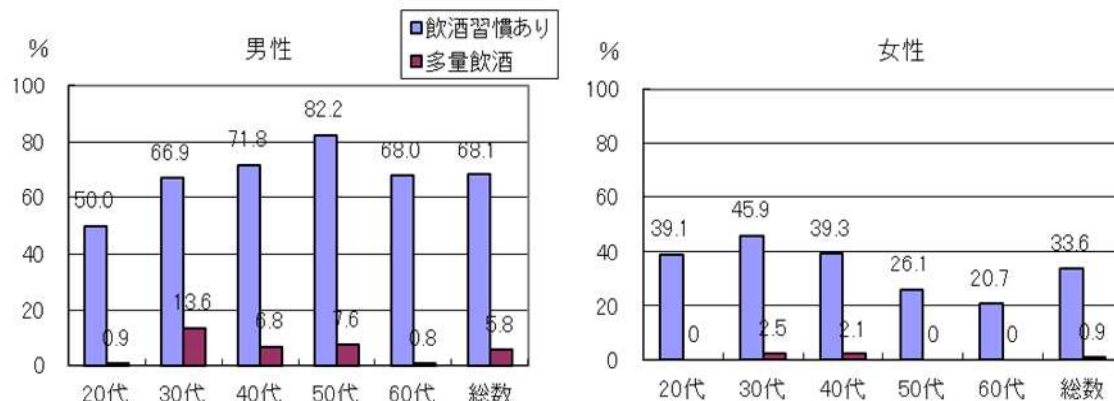


図20 飲酒習慣ありと多量飲酒の割合



⑦ たばこについて

喫煙者の割合は、平成17年とほぼ同じであった。男性は40歳代、女性は30歳代の喫煙率が高かった。喫煙の健康への影響についての認知度は、平成17年に比べ、心臓病を除き増加した。認知度が5割を割っていたのは胃潰瘍・歯周病であったが、歯周病は約10%認知度が増加した。

図21 喫煙の状況

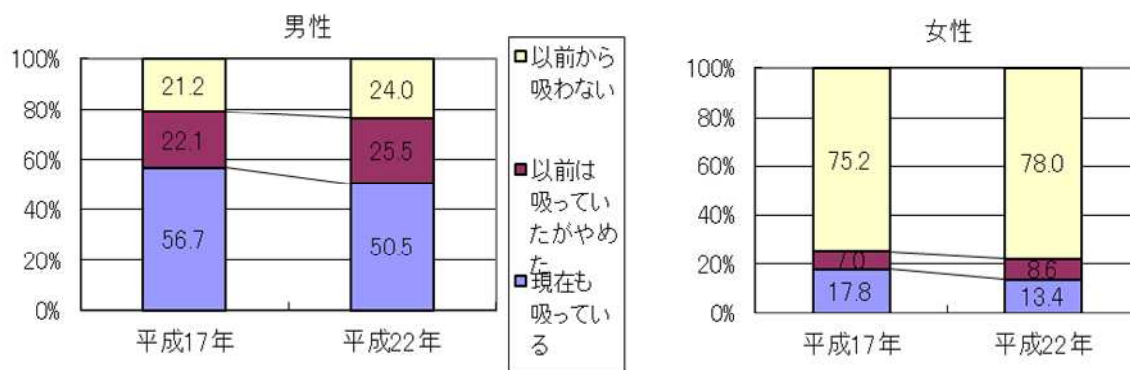
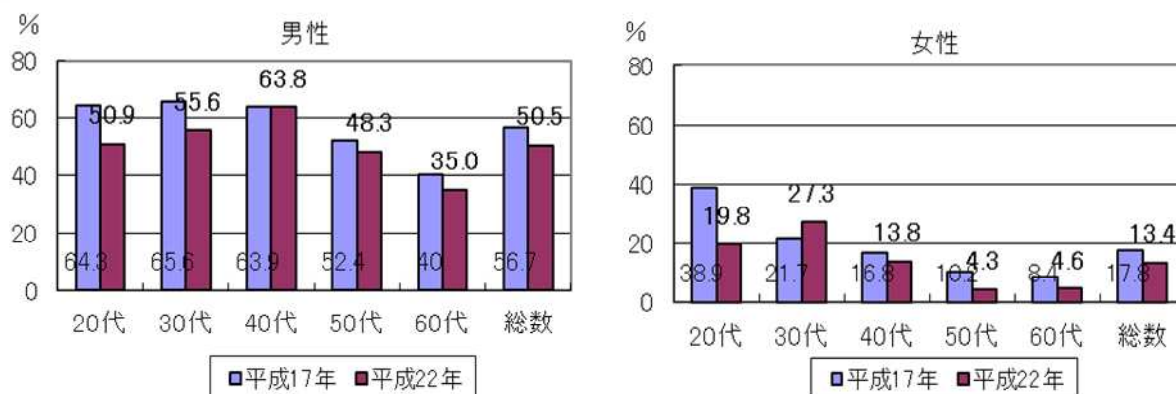
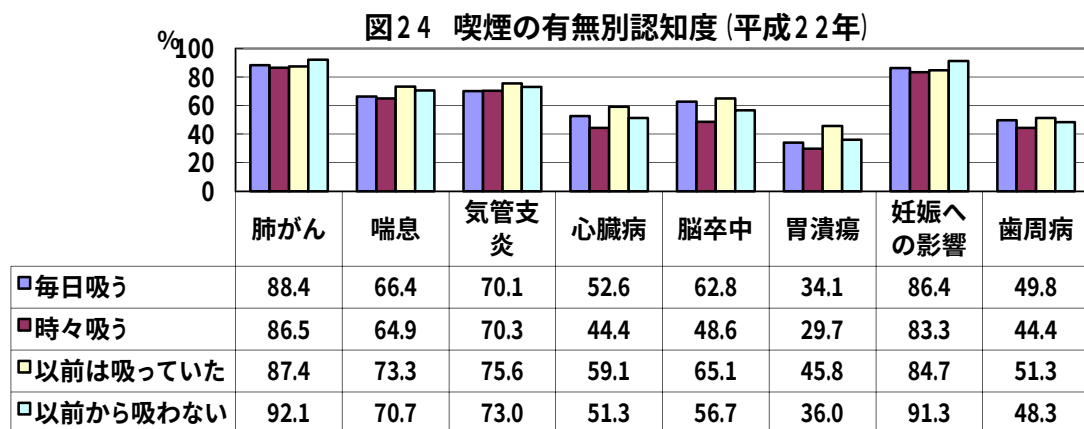
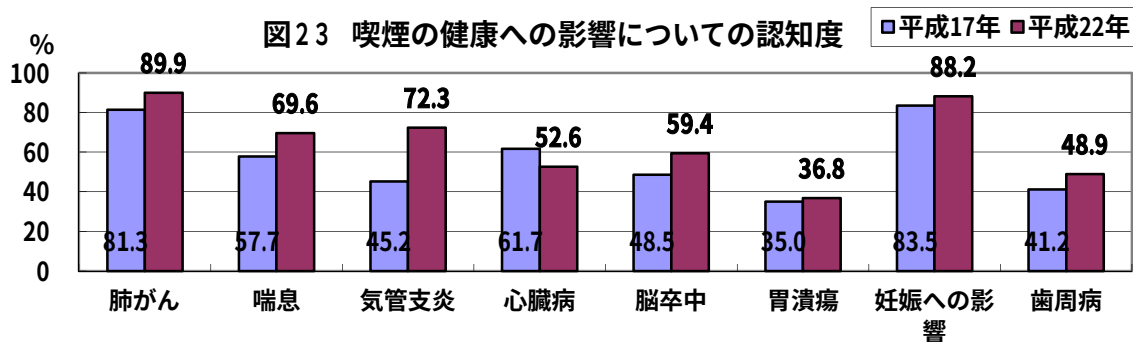


図22 喫煙者の割合（年代別）

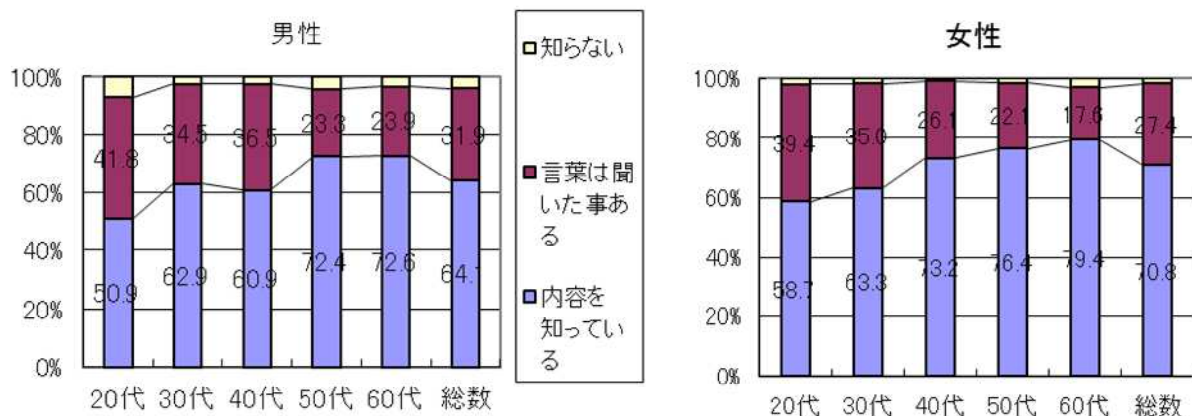


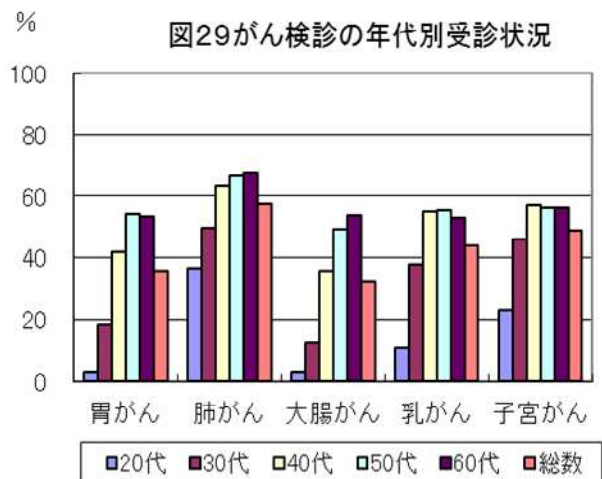
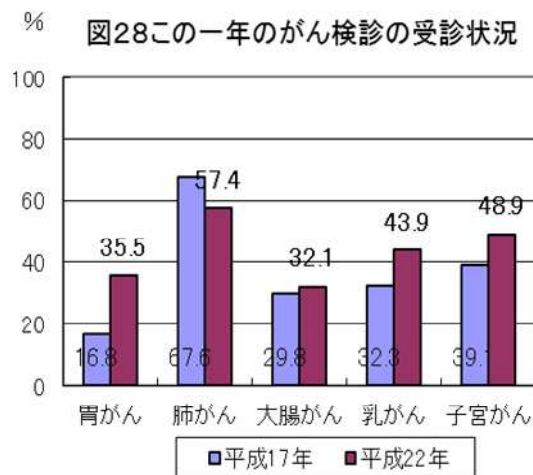
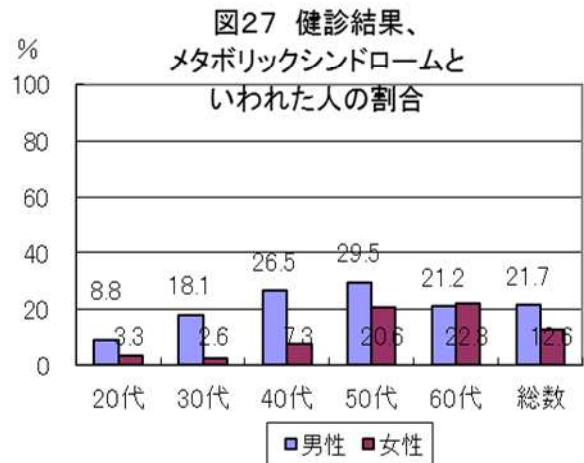
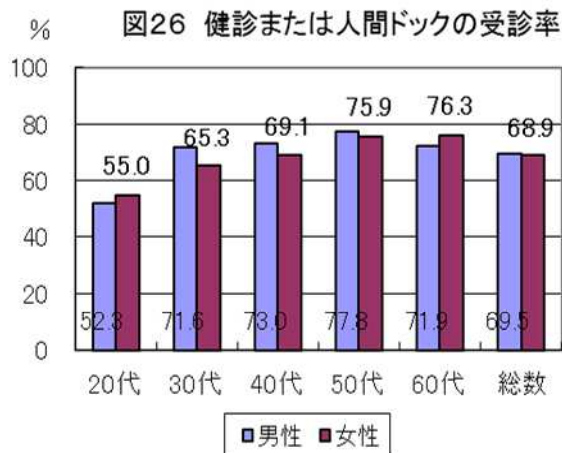


⑧ 医療等受診状況について

メタボリックシンドロームの認知度は、年代とともに高くなっていった。
 この1年間で健診・人間ドック等を約7割の方が受診していた。その結果、メタボリックシンドロームといわれた人の割合が高かったのは、40～50歳代の男性であった。がん検診の受診状況は、肺がん検診を除く各がん検診は50%を未満であった。乳がん・子宮がん検診の受診率は平成17年に比べ高くなった。

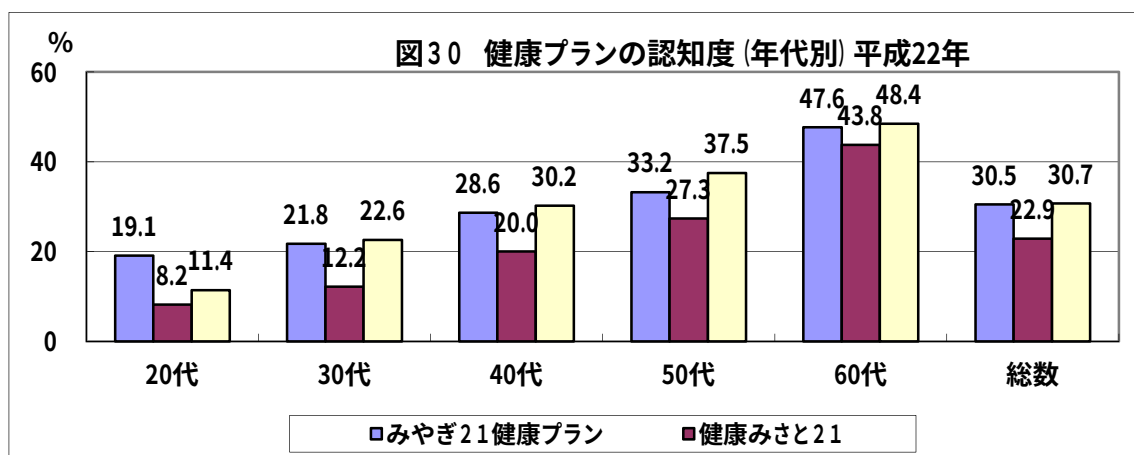
図25 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度（年代別）





⑨ 健康増進計画について

健康プランの認知度は年代とともに高くなっていったが、7～8割が「知らない」という回答だった。



【第1期目標達成状況の評価と第2期目標の比較】

重点項目

大目標

小目標

目標(指標)

第1期目標値

①ベースライン値(H18年度)

②H22年現状値

増減①-②

目標達成度

◎目標達成
△改善傾向
▼悪化傾向
―変化なし、
評価なし

○達成
△改善も
未達成
▼悪化
―変化なし、
評価なし

(スローガン)
大目標

目標

目標(指標)

H22現状値

第2期目標値(H33)

県目標値
増進:H22
歯と口腔:
H28
食育:H27

第1期美里町健康増進計画「健康みさと21」

第2期美里町健康増進計画「健康みさと21」

食事は三食、おいしく、楽しく、適量で

○家族そろって食事をしよう
○お膳の形で食べよう
母子・バランスのとれた食事で、良く噛んでたべよう
成人・朝ごはんを食べよう・バランスのとれた食事をしよう
老人・偏らない食事をしよう

1

朝食をお膳の形で食べている人の増加
↓
主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの増加

3歳児
小学生
中学生

45.0%
20.0%
20.0%

35.4%
14.8%
11.6%

56.7%
26.1%
30.5%

1)
2)
2)

21.3%
11.3%
18.9%

△
※アンケート
変更につき、
参考値

―

2

お膳の形で食べている人の増加
(1日2食以上)
※主食・主菜・副菜をそろえて食べるよう意識している人の増加

町民
成人
男性
女性

30.0%
30.0%
63.2%
62.1%
79.1%

24.0%
63.2%
62.1%
79.1%

―
3)
3)
3)

4.7%
―
―
―

※参考値

―

3

朝食に副菜がある人の増加

3歳児

50.0%

40.2%

60.2%

1)

20%

◎

○

4

副菜を1日1食以上食べている人の増加

成人

100.0%

74.0%

―

―

―

※食改調査
未実施

―

5

副菜を1日2食以上食べている人の増加

―

30.0%

24.0%

―

―

―

※食改調査
未実施

―

6

朝食の欠食者の減少
↓

小学5年
中学2年
※小学生
※中学生
成人男性
成人女性

1.0%以下
3.0%以下
―
―
11.8%
6.5%

1.7%
5.0%
―
―
13.1%
7.2%

0%
2.7%
0.8%
3.0%
11.4%
9.3%

2)
2)
2)
2)
3)
3)

−1.7%
−2.4%
―
―
−1.6%
2.1%

◎
◎
◎
◎
◎
▼

△

7

朝食を子どもだけで食べた人の減少
↓
※休日の朝食を家族の誰かと一緒に食べた人の増加

小学生
中学生
小学生
中学生

30.0%
42.0%
―
―

32.3%
46.5%
―
67.4%

37.2%
54.4%
84.4%
67.4%

2)
2)
2)
2)

4.9%
7.9%
―
―

▼
▼
※指標変更
の意見あり、
参考値

▼

食事は三食、おいしく、楽しく、適量で

◇体に良いかしこい食べ方を知り、身につけよう
◇規則正しい生活を送ろう
◇みんなで食事を楽しもう

1

主食・主菜・副菜をそろえて食べる子どもの増加

3歳児
小学生
中学生

56.7%
26.1%
30.5%

62%
29%
34%

2

お膳の形で食べている人の増加
(1日2食以上)
主食・主菜・副菜をそろえて食べるよう意識している人の増加

成人
男性
女性

71.2%
62.1%
79.1%

―
68%
87%

食育:75%

3

朝食に副菜がある人の増加
副菜を1日1食以上食べている人の増加
副菜を1日2食以上食べている人の増加

小学5年
中学2年
小学生
中学生
成人男性
成人女性

0.8%
3.0%
11.4%
9.3%

0.8%以下
3%以下
10%
8%

食育:29%以下(小6)
食育:23%以下(20~30代男性)

4

朝7時までには起きる子どもの増加

小学生
中学生

97.5%
96.4%

100%
100%

5

朝食を子どもだけで食べた人の減少
↓
家族の誰かと一緒に食事をする子どもの増加

小学生
中学生

94.2%
76.6%

100%
82%

6

食事を楽しいと思っている人の増加

成人※調査予定

栄養・食生活

【第1期目標達成状況の評価と第2期目標の比較】

第1期美里町健康増進計画「健康みさと21」											第2期美里町健康増進計画「健康みさと21」										
重点項目	大目標	小目標	目標(指標)	第1期目標値	①ベースライン値(H18年度)	②H22年現状値	増減①-②	目標達成度		(スローガン)大目標	目標	目標(指標)	H22現状値	第2期目標値(H33)	県目標値増進:H22 歯と口腔:H28 食育:H27						
								◎目標達成 △改善傾向 ▼悪化傾向 ―変化なし、 評価なし	○達成 △改善も 未達成 ▼悪化 ―変化なし、 評価なし												
身体活動・運動	まず、体を動かそう										まず、体を動かそう										
	○無理なくできることを見つけよう 母子・外で遊ぼう 成人・身近な場所で体を動かそう 老人・まず歩こう										◇自分に合った方法であと10分体を動かそう										
	8	定期的に運動している人の増加 (週に2回以上で1回30分以上)		男性	28.3%	28.3%	30.1%	3)	1.8%	◎	△	7	定期的に運動している人の増加 (週に2回以上で1回30分以上)		男性	30.1%	35%	増進: 41%以上			
		女性	20.6%	20.6%	20.7%	3)	0.1%	―	女性	20.7%			25%	増進: 41%以上							
	9	歩数を増やすように意識している人の増加 日常生活の中で健康維持・増進のために意識的に体を動かしている人の増加		成人	28.7%	26.1%	38.3%	3)	12.2%	◎	○	8	歩数を増やすように意識している人の増加 日常生活の中で健康維持・増進のために意識的に体を動かしている人の増加		男性	47.1%	63%	増進: 63%以上			
		男性			47.1%	3)			女性	49.8%			63%								
	10	外で遊ぶ人の増加 (1時間以上外遊びをする児)		2歳児	100%	83.1%	84.5%	4)	1.4%	△	△	9	外で遊ぶ人の増加 (1時間以上外遊びをする児)		2歳児	84.5%	90%				
	歯の健康	生涯、自分の歯で食べよう										生涯、自分の歯で食べよう									
		○定期健診受診 ○8020を目指して3・3・3(1日3回食後3分以内に3分磨く) 母子・仕上げ磨きをしよう 成人・歯周病予防のために健康づくりの歯みがきをしよう 老人・お口の健康を保とう										◇こどもの虫歯を予防しよう ◇歯周病を予防し、残った歯を大切にしながらお口の機能を維持しよう									
11		3歳児の虫歯保有率の減少		3歳児	38.0%	41.5%	37.4%	5)	-4.1%	◎	○	10	3歳児の虫歯保有率の減少								
		3歳児の一人平均むし歯数の減少		3歳児	1.63本	1本以下	歯と口腔: 1本以下														
12		小学生の虫歯の保有率の減少		小学生	55.9%	62.1%	44.8%	6)	-17.3%	◎	○	11	3歳児におけるむし歯のない子の増加		3歳児	62.6%	80%以上	歯と口腔: 80%以上			
		小学生の虫歯の保有率の減少			44.8%																
13		中学生の虫歯の保有率の減少		中学生	75.9%	84.3%	78.9%	6)	-5.4%	◎	○	12	小学生の虫歯の保有率の減少			78.9%					
		中学生の虫歯の保有率の減少																			
14		定期健診の受検率の増加		成人	39.0%	35.4%	34.5%	3)	-0.9%	▼	▼	13	12歳児の一人平均むし歯数(永久歯)の減少		中学生	2.44本	1本以下	歯と口腔: 1本以下			
		定期健診の受検率の増加			34.5%																
15		かかりつけの歯科医を持っている人の増加		男性	50.0%	44.1%	37.6%	3)	-6.5%	▼	▼		かかりつけの歯科医を持っている人の増加		男性	37.6%					
		女性	60.0%	57.3%	56.8%	3)	-0.5%	▼	女性	56.8%											
				全体			47.7%	3)				成人	47.7%	70%以上	歯と口腔: 70%以上						
		16	60才以上で歯が20本以上の人の増加 【参考値】60代で歯が20本以上ある人		男性	46.0%	44.1%	―			※H22年の調査対象年齢が60歳代までにより、参考値	―		60才以上で歯が20本以上の人の増加							
女性			42.0%	40.6%	―																
				男性		60.8%	57.9%	3)	-2.9%				60歳代で歯が25本以上ある人の増加		60歳代	35.7%	50%以上	歯と口腔:60歳で25本以上50%以上			
		女性		50.6%	62.8%	3)	12.2%														
17	歯の教室実施回数の増加		15回	7回	34回	7)	19	◎	○		歯の教室実施回数の増加										

【第1期目標達成状況の評価と第2期目標の比較】

第1期美里町健康増進計画「健康みさと21」											第2期美里町健康増進計画「健康みさと21」											
重点項目	大目標	小目標	目標(指標)	第1期目標値	①ベースライン値(H18年度)		②H22年現状値	増減①-②	目標達成度		(スローガン)	大目標	小目標	目標(指標)	H22現状値	第2期目標値(H33)	県目標値増進:H22 歯と口腔: H28 食育:H27					
					◎目標達成 △改善傾向 ▼悪化傾向 ―変化なし、 評価なし	○達成 △改善も 未達成 ▼悪化 ―変化なし、 評価なし																
こころの健康づくり			交流の場をもとう											こころをつなげ、やさしい地域にしよう								
			○自分に合った趣味・楽しみを見つけよう 母子・戸外で遊ぼう 成人・地域の集いに参加しよう 老人・家庭内での役割を持とう											◇声かけあい、気軽に相談できる人を増やそう								
			18	地域の行事の参加人数の増加 (地区栄養教室参加者数の増加)	年回数 参加人数	55回 940人	50回 857人	26回 356人	7) 7)	-24回 -501人				▼ ▼	▼							
			19	気軽に相談できる人の増加	男性	現状維持	58.5%	55.1%	3)	-3.4%				▼	△	15	気軽に相談できる人の増加	男性	55.1%	100%	増進:100%	
					女性	現状維持	74.7%	77.0%	3)	2.3%				◎				女性	77.0%			
					全体			66.7%	3)					全体				66.7%				
										16	睡眠で休養がとれない人の減少	全体	23.8%	21%以下	増進:13%以下							
										17	自殺者数の減少	11人	5人以下	増進:580人以下								
タバコ・アルコール			①喫煙人口を減少しよう ②アルコールは適度に楽しもう											①喫煙人口を減少しよう ②アルコールは適度に楽しもう								
			○タバコ・多量アルコールの害を知ろう 母子・タバコ・多量アルコールの害を知ろう 成人・マナーを守ろう 老人・マナーを守ろう ・アルコールは適量で楽しもう												◇たばこの健康への影響を理解しよう ◇喫煙人口を減少しよう ◇アルコールの健康への影響を理解しよう ◇アルコールは適度に楽しもう							
			20	妊婦の喫煙率(母子健康手帳交付時)の減少		0%	7.9%	3.7%	1)	-4.2%				△	△							
			21	喫煙人口の減少	男性	48.0%	52.8%	50.5%	3)	-2.3%				△	△	18	喫煙人口の減少	男性	50.5%	45%		
					女性	13.0%	15.0%	13.4%	3)	-1.6%				△				女性	13.4%	12%		
			22	喫煙の健康への影響についての認知度の増加	気管支炎	39.0%	35.5%	72.3%	3)	36.8%				◎	○	19	喫煙の健康への影響についての認知度の増加	気管支炎	72.3%	80%以上	増進:100%	
					脳卒中	41.0%	37.4%	59.4%	3)	22.0%				◎				脳卒中	59.4%			
					歯周病	37.0%	30.8%	48.9%	3)	18.1%				◎				歯周病	48.9%			
					胃潰瘍	20.0%	27.7%	36.8%	3)	9.1%				◎				胃潰瘍	36.8%			
					肺がん			※89.9%	3)					※参考値				肺がん	89.9%			
					ぜんそく			※69.6%	3)									ぜんそく	69.3%			
					心臓病			※52.6%	3)									心臓病	52.6%			
					妊娠等			※88.2%	3)									妊娠等	88.2%			
			23	多量飲酒者の減少	男性	11.3%	12.6%	5.8%	3)	-6.8%				◎	△	20	多量飲酒者の減少	男性	5.8%	5%以下	増進:7%以下	
女性	0.4%	0.5%			0.9%	3)	0.4%	▼	女性	0.9%	0.3%以下	増進:0.3%以下										
24	休肝日を作っている人の増加	男性	19.3%	16.1%	50.3%	3)	34.2%	◎	○		休肝日を作っている人の増加 ↓	男性	50.3%									
		女性	22.1%	18.4%	79.0%	3)	64.4%	◎				女性	79.0%									
										21	節度ある適度の飲酒を知っている人の増加	44.8%	75%以上	増進:100%								

【第1期目標達成状況の評価と第2期目標の比較】

重点項目	第1期美里町健康増進計画「健康みさと21」										第2期美里町健康増進計画「健康みさと21」						
	大目標	小目標	目標(指標)	第1期目標値	①ベースライン値(H18年度)	②H22年現状値	増減①ー②	目標達成度		H22現状値	第2期目標値(H33)	県目標値増進:H22 歯と口腔: H28 食育:H27					
								◎目標達成 △改善傾向 ▼悪化傾向 ―変化なし、 評価なし	○達成 △改善も 未達成 ▼悪化 ―変化なし、 評価なし								
生活習慣病	糖尿病を予防しよう									がん・糖尿病・高血圧を予防しよう							
	○健診を受けよう ○肥満を予防しよう 母子・バランスの良い食事をしよう 成人・バランスの良い食事をしよう・運動不足を解消しよう 老人・バランスの良い食事をしよう・運動不足を解消しよう									◇健康診査やがん検診を受けよう ◇肥満を予防しよう ◇血圧を正常値でコントロールし合併症を予防しよう							
	25	健診の受診率の増加	男性 女性	88.0% 85.0%	79.6% 76.6%	69.5% 68.9%	3) 3)	-10.1% -7.7%	▼ ▼	▼							
	26	肥満者の減少	小学校 中学校	11.3%以下 (ローレル指数) 10.2%以下 (BMI法)	11.3% 10.2%	9.0% 8.1%	2) 2)	-2.3% -2.1%	◎ ◎	○							
	27	働き盛り世代(20～50代)男性の肥満者の減少		27.3%	30.3%	29.4%	3)	-1.1%	△	△							
		※食育指標:30代男性の肥満者率の減少		30.0%	32.1%	31.9%	3)	-0.2%	△								
	28	町基本健康診査結果要指導者の減少 ↓	血糖 要指導者 高脂血症 要指導者	7.5% 11.2%	8.3% 12.4%				※制度改革により健診内容等変更あり								
		内臓脂肪症候群項目有所見者の減少	男性 女性	H20:44.6% H20:22.4%	49.1% 19.2%	4.5% -3.2%		※目標値未設定により参考値	—								
											</						

※H22年現状値出典

- 1) 3歳児健診食事調査
- 2) 小中学校食育に関するアンケート
- 3) 平成22年町民健康調査
- 4) 2歳児健診問診票
- 5) 3歳児歯科検診
- 6) 町内小中学校歯科検診
- 7) 地域保健・健康増進事業報告
- 8) 特定健診法定報告

※県目標値出典計画名

増進:みやぎ21健康プラン(計画期間:平成14年度～平成24年度)
歯と口腔:宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画(計画期間:平成23年～平成29年度)
食育:第2期宮城県食育推進プラン(平成23年度から平成27年度)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画[栄養・食生活]資料

＜主食・主菜・副菜をそろえて食べる子ども(朝食)＞

(単位: %)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
3歳児	21.9	34.5		31.9	40.0	56.7
小学生	-	-	14.8	10.3	11.6	26.1
中学生	-	-	11.6	10.4	14.3	30.5

(3歳児健康診査食事調査、小中学校朝食アンケート、小中学校食育に関するアンケートより)

参考＜朝食に副菜を食べる子ども(平成21年)＞

(単位: %)

	3歳児	小学生	中学生
美里町	60.2	35.6	35.8
宮城県	-	33.0	25.2

(宮城県: 宮城県児童生徒の健康実態調査、町: 3歳児健康診査食事調査、小中学校朝食アンケートより)

＜主食・主菜・副菜をそろえて食べるよう意識している人＞

(単位: %)

	平成17年			平成22年		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
美里町	63.2	56.0	69.7	71.2	62.1	79.1
宮城県	62.7	52.2	72.2	70.6		

(宮城県: 県民健康・栄養調査、町: 町民健康調査より)

＜小学生の朝食欠食者＞

(単位: %)

	H19	H20	H21	H22
美里町	1.7	2.4	0.9	0.8
宮城県	3.7	3.7	3.4	2.6
全国	4.8	4.6	4.0	3.6

(全国・宮城県: 全国学力学習状況調査、町: 小中学校食育に関するアンケートより)

＜中学生の朝食欠食者＞

(単位: %)

	H19	H20	H21	H22
美里町	5.0	5.4	3.9	3.0
宮城県	6.7	6.4	6.0	5.5
全国	8.4	8.1	7.6	6.7

(全国・宮城県: 全国学力学習状況調査、町: 小中学校食育に関するアンケートより)

＜成人の朝食欠食者＞

(単位: %)

	平成17年			平成22年		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
美里町	11.7	15.2	8.5	10.2	11.4	9.3
宮城県	12.3	16.7	8.4		15.3	6.7

(宮城県: 県民健康・栄養調査、町: 町民健康調査より)

＜成人の朝食欠食者(年代別)＞

(単位: %)

	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	27.0	12.9	10.4	6.1	1.7	11.4
女性	21.4	14.3	7.8	4.3	1.5	9.3

(平成22年町民健康調査より)

＜子どもの起床時間(何時までに起きるか)＞(単位: %)

	5時まで	6時まで	7時まで	8時まで
小学校	10.6	51.1	36.7	1.6
中学校	7.0	43.7	46.6	2.7

(平成22年小中学校食育に関するアンケートより)

＜朝7時までに起きる子ども＞

(単位: %)

	H19	H20	H21	H22
小学校	99.1	97.7	98.3	98.4
中学校	95.9	96.0	95.6	97.3

(小中学校朝食アンケート・食育に関するアンケートより)

＜平日及び休日に誰かと一緒に朝食を食べている子ども＞

(単位: %)

	誰かと一緒に食べた	1人で又は欠食	平日・休日とも欠食
小学生	94.2	5.7	0.1
中学生	76.6	23.1	0.3

(平成21年小中学校朝食アンケートより)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画〔身体活動・運動〕資料

＜運動習慣のある人（1回30分以上を週2日以上継続している人）の割合＞ 単位（％）

	平成17年			平成22年			
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	
美里町	21.9	26.1	18.0	25.1	30.1	20.7	（町民健康調査より）
宮城県	24.0	24.4	23.7				（県民健康調査より）
全国					34.8	28.5	（国民健康調査より）

＜運動習慣のある人（年代別）＞

（男性）

（単位：％）

	20代	30代	40代	50代	60代	計
平成17年	34.1	18.6	23.8	20.2	33.3	26.1
平成22年	28.0	26.1	26.5	24.3	45.2	30.1

（女性）

	20代	30代	40代	50代	60代	計	
平成17年	15.3	9.5	14.3	17.5	31.0	18.0	（町民健康調査より）
平成22年	19.6	15.1	11.5	18.1	38.8	20.7	

＜何かきっかけがあれば運動したいと考えている人の割合＞

（運動習慣のない人のみ）

単位（％）

	平成17年			平成22年			
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	
美里町	77.9	72.3	82.6	78.0	72.7	82.1	（町民健康調査より）
宮城県	68.6	65.7	71.2				（県民健康調査より）

＜何かきっかけがあれば運動したいと考えている人の割合（年代別）＞

（男性）

（単位：％）

	20代	30代	40代	50代	60代	計
平成17年	78.2	73.9	78.1	63.8	70.6	72.3
平成22年	75.3	76.5	69.9	74.4	65.6	72.7

（女性）

	20代	30代	40代	50代	60代	計	
平成17年	84.5	89.3	88.0	80.4	69.6	82.6	（町民健康調査より）
平成22年	82.2	84.2	81.3	85.0	76.5	82.1	

※町民健康調査：平成17年との比較では、年代を20～60歳代までに同じくして比較

●美里町の現状用分析表

健康増進計画[歯の健康]資料

＜1歳6か月児一人平均むし歯本数＞ (単位:本)

	H19	H20	H21	H22
美里町	0.1	0.1	0.03	0.06
宮城県	0.13	0.1	0.09	0.09
全国	0.08	0.08	0.07	—

(1歳6か月児健康診査より)

＜1歳6か月児むし歯のない子＞ (単位:%)

	H19	H20	H21	H22
美里町	93.7	96.8	98.6	98.7
宮城県	95.6	96.5	97.0	97.0
全国	97.2	97.3	97.5	—

(1歳6か月児健康診査より)

＜3歳児一人平均むし歯本数＞ (単位:本)

	H19	H20	H21	H22
美里町	1.8	2.4	2.0	1.63
宮城県	1.63	1.52	1.36	1.21
全国	1.01	0.94	0.87	—

(3歳児健康診査より)

＜3歳児むし歯のない子＞ (単位:%)

	H19	H20	H21	H22
美里町	62.1	54.0	58.8	62.6
宮城県	63.2	63.9	68.3	69.9
全国	74.1	75.4	77.0	—

(3歳児健康診査より)

＜12歳児一人平均むし歯本数(永久歯)＞ (単位:本)

	H18	H21
美里町	3.39	2.44
宮城県	2.3	1.8
全国	1.7	1.4

(全国・宮城県:学校保健統計調査、町:児童生徒の健康実態調査より)

＜12歳児むし歯なし(健全歯)者＞ (単位:%)

	H18	H21	H22	H23
美里町	—	—	41.3	32.6
宮城県	34.3	42.2	—	—
全国	43.5	50.3	—	—

(全国・宮城県:学校保健統計調査、町:各町立中学校での歯科検診より)

＜12歳児の口腔疾患・異常の状況＞ (単位:%)

	歯肉の異常	歯列・咬合の異常
宮城県	7.0	12.0
全国	4.39	5.47

(平成21年度学校保健統計調査より)

＜成人の歯周疾患健診の現状＞

受診率	H21	H22
美里町	5.1	4.1
宮城県	8.5	—

(地域保健・健康増進事業報告より)

(単位:%)

要精検者	H21	H22
美里町	69.1	92.3
宮城県	89.0	—

＜かかりつけ歯科医のある人＞ (単位:%)

	H17	H22
美里町	49.3	47.7
宮城県	47.8	調査中

(宮城県:県民健康・栄養調査、町:町民健康調査より)

＜60歳代で20本以上歯のある人＞ (単位:%)

	H17	H21	H22
美里町	55.4	—	60.5
宮城県	—	—	60.5
全国	—	64.1	—

(全国:国民健康・栄養調査、宮城県:県民健康・栄養調査、町:町民健康調査より)

＜60歳代で25本以上歯のある人＞ (単位:%)

	H17	H22
美里町	32.5	35.7
全国	39.4	—

(全国:歯科疾患実態調査、町:町民健康調査より)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画「こころの健康づくり」資料

1か月にストレスを感じた人の割合 (単位: %)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	58.8	61.3	78.6	58.6	37.8	58.7
女性	80.0	78.6	78.1	72.9	60.2	73.6

(H22年町民健康調査より)

悩み事が気軽に相談できる割合 (単位: 人・%)

	いる	いない	わからない	合計
H17	502 43.5	152 13.2	95 8.2	1,155 100
H22	800 66.7	213 17.8	186 15.5	1,199 100

(H22年町民健康調査より)

ここ1か月以内に睡眠が十分とれていない割合 (単位: 人・%)

	あまりとれていない	全くとれていない	睡眠不足合計
H17	219	19	238
総数869	25.2	2.2	27.4
H22	265	22	287
総数1205	22.0	1.8	23.8

(H22年町民健康調査より)

自殺者死亡率(H22年) (単位: 死亡数: 人、死亡率: 人口10万対)

	美里町		大崎管内		宮城県	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
H20	8	55.8	75	34.8	649	27.9
H21	4	15.5	56	26.1	577	24.8
H22	11	43.0	66		579	24.9

(宮城県衛生統計より)

(※H22は、警察庁自殺データより)

美里町自殺者数年次推移 (単位: 人)

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
7	5	9	5	10	9	10	8	4	11

(宮城県衛生統計より)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画「たばこ・アルコール」資料

＜喫煙の健康に与える影響の認知度＞

① (単位:%)

項目	宮城県		美里町
	H12	H17	H17
肺がん	90.6	67.3	65.9
ぜんそく	57.8	45.8	46.6
気管支炎	62.1	49.7	35.5
心臓病	41.4	37.1	49.5
脳卒中	36.6	36.4	37.4
胃潰瘍	34.2	28.4	27.7
妊娠等	81.4	60.5	61.4
歯周病	29.8	31.5	30.8

＜喫煙の健康に与える影響の認知度＞

② (単位:%)

項目	美里町	
	H17	H22
肺がん	81.3	89.9
ぜんそく	57.7	69.6
気管支炎	45.2	72.3
心臓病	61.7	52.6
脳卒中	48.5	59.4
胃潰瘍	35	36.8
妊娠等	83.5	88.2
歯周病	41.2	48.9

(宮城県: H12年県民健康栄養調査 H17年県民健康調査、町: 町民健康調査)

※平成17年宮城県との比較は、回答の年代が70歳以上を含む。②は、平成22年回答年代(～60歳代)にそろえ、比較)

＜喫煙人口＞ (「毎日吸う」「時々吸う」と回答した方)

(単位:%)

	宮城県	美里町						
	H12	H17	H22	20代	30代	40代	50代	60代
男	58.6	52.8	50.5	9.5	11.2	12.7	9.7	7.4
女	13.7	15.0	13.4	3.4	5.2	3.0	0.9	0.9

(宮城県: H12年県民健康栄養調査、町: 町民健康調査)

＜たばこをやめようとしたこと、やめたいと思ったことはあるか＞

(「毎日吸う、時々吸う」と回答した方のみ)

(単位:%)

	宮城県	美里町	
	H17	H17	H22
男	73.9	67.5	71.8
女	65.7	86.4	81.2

(宮城県: H17年県民健康調査、町: 町民健康調査)

＜禁煙のための指導を受けたいと思うか＞ (「やめたい」「本数を減らしたい」と回答した方のみ)

(単位:%)

	宮城県	美里町	
	H17	H17	H22
男	47.7	40.5	52.5
女	48.9	37.5	44.9

(宮城県: H17年県民健康調査、町: 町民健康調査)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画「たばこ・アルコール」資料

＜多量飲酒する人＞

(単位:%)

	国	宮城県		美里町	
	H10	H12	H17	H17	H22
男	7.2	12.5	10.5	12.6	5.9
女	0.5	0.5	0.9	0.5	0.9

(国: H10年国民栄養調査、宮城県: H12年県民健康栄養調査 H17年県民健康調査、町: 町民健康調査)

＜多量飲酒: 週4日以上3合以上飲んでいる人＞

①男性

(単位:%)

	20代	30代	40代	50代	60代	男性計
有効回答数	108	118	117	118	125	586
飲酒あり	50.0	66.9	71.8	82.2	68.0	68.1
毎日飲む	5.6	33.1	44.4	44.9	38.4	33.8
多量飲酒	0.9	13.6	6.8	7.6	0.8	5.9

②女性

	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
有効回答数	110	122	140	142	140	654
飲酒あり	39.1	45.9	39.3	26.1	20.7	33.6
毎日飲む	0.0	8.2	14.3	6.3	5.0	7.0
多量飲酒	0.0	2.5	2.1	0.0	0.0	0.9

(H22年町民健康調査)

＜週何日お酒を飲むか＞（「飲む」と回答したひとのみ）

①男性

(単位:%)

	美里町(H22)					
	20代	30代	40代	50代	60代	計
有効回答数	54	79	84	97	85	399
毎日飲む	11.1	49.4	61.9	54.6	56.5	49.6
週5～6日	1.9	7.6	15.5	14.4	18.8	12.5
週4日	7.4	12.7	2.4	10.3	14.1	9.5
週3日以内	79.6	30.4	20.2	20.6	10.6	28.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(町: H22年町民健康調査)

②女性

(単位:%)

	美里町(H22)					
	20代	30代	40代	50代	60代	計
有効回答数	42	56	55	37	29	219
毎日飲む	0.0	17.9	36.4	24.3	24.1	21.0
週5～6日	4.8	16.1	7.3	16.2	17.2	11.9
週4日	0.0	3.6	7.3	16.2	13.8	7.3
週3日以内	95.2	62.5	49.1	43.2	44.8	59.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(町: H22年町民健康調査)

＜節度ある適度な飲酒＞

(単位:%)

	宮城県		美里町	
	H12	H17	H17	H18
男女	38.4	39.1	36.0	44.8

(宮城県: H12年県民健康栄養調査 H17年県民健康調査、町: 町民健康調査)

※節度ある適度な飲酒＝日本酒にして1日1合程度

＜休肝日を作っている人＞

* H17年の指標

(単位:%)

	美里町	
	H17	H22
男	16.1	50.3
女	18.4	79.0

(H22年町民健康調査)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画(生活習慣病)資料

＜美里町死因別死亡状況(死亡数と人口10万対死亡率)＞

(単位:実数人、率%)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総死亡数	実数	267	296	279	253	289	298	321	295	308
	率	967.6	1081.8	1023.1	933.2	1077.0	1,121.7	1219.1	1136.3	1193.3
結核	実数	1	1	1	0	0	0	1	0	1
	率	3.6	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.9
悪性 新生物	実数	85	85	90	73	85	93	84	93	103
	率	308.0	310.7	330.0	269.3	316.8	350.1	319.0	358.2	399.1
糖尿病	実数	1	3	3	1	4	2	6	6	1
	率	3.6	11.0	11.0	3.7	14.9	7.5	22.8	23.1	3.9
高血圧性 疾患	実数	1	0	2	2	2	1	2	0	4
	率	3.6	0	7.3	7.4	7.5	3.8	7.6	0.0	15.5
心疾患	実数	49	49	49	51	49	56	63	38	37
	率	177.6	179.1	179.7	188.1	182.6	210.8	239.3	146.4	143.3
脳血管 疾患	実数	41	45	34	34	32	39	32	44	30
	率	148.6	164.5	124.7	125.4	119.2	146.8	121.5	169.5	116.2
肺炎	実数	18	29	25	25	26	30	39	34	32
	率	65.2	106.0	91.7	92.2	96.9	112.9	148.1	131.0	124.0
慢性気管 支炎及び 肺気腫	実数	1	5	1	2	1	4	3	0	1
	率	3.6	18.3	3.7	7.4	3.7	15.1	11.4	0.0	3.9
喘息	実数	0	0	1	1	2	0	1	2	0
	率	0	0	3.7	3.7	7.5	0.0	3.8	7.7	0.0
胃潰瘍及 び十二指 腸潰瘍	実数	3	0	0	1	1	0	1	0	0
	率	10.87	0	0	3.7	3.7	0.0	3.8	0.0	0.0
肝疾患	実数	2	4	4	3	5	3	3	2	3
	率	7.2	14.6	14.7	11.1	18.6	11.3	11.4	7.7	11.6
腎不全	実数	2	2	6	4	14	5	7	2	11
	率	7.2	7.3	22.0	14.8	52.2	18.8	26.6	7.7	42.6
老衰	実数	8	6	10	7	7	9	16	9	17
	率	29.0	21.9	36.7	25.8	26.1	33.9	60.8	34.7	65.9
不慮の事 故	実数	7	17	9	9	13	6	8	13	13
	率	25.4	62.1	33.0	33.2	48.4	22.6	30.4	50.1	50.4
(再掲)交 通事故	実数	1	5	3	3	4	2	1	1	2
	率	3.6	18.3	11.0	11.1	14.9	7.5	3.8	3.9	7.7
自殺	実数	7	5	9	5	10	9	10	8	4
	率	25.4	18.3	33.0	18.4	37.3	33.9	38.0	30.8	15.5

(衛生統計年報より)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画(生活習慣病)資料

＜美里町悪性新生物 部位別死亡数の推移＞

(単位:人)

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総数	男女計	85	85	90	73	85	93	84	93	103
	男	50	50	48	43	51	54	47	57	71
	女	35	35	42	30	34	39	37	36	32
胃	男女計	17	14	11	8	18	20	18	14	22
	男	9	10	9	6	11	15	12	10	18
	女	8	4	2	2	7	5	6	4	4
直腸S上結腸移行部及び直腸	男女計	6	7	5	3	4	4	6	3	5
	男	3	3	3	2	2	2	3	2	3
	女	3	4	2	1	2	2	3	1	2
気管・気管支及び肺	男女計	26	12	17	10	16	15	17	16	14
	男	18	10	11	6	15	9	11	10	13
	女	8	2	6	4	1	6	6	6	1
乳房	女	0	1	4	2	4	2	1	3	4
子宮	女	1	2	0	2	1	1	1	1	2
前立腺	男	1	1	3	3	4	3	2	3	5
その他	男女計	34	48	50	45	38	48	39	53	51
	男	19	26	22	26	19	25	19	32	32
	女	15	22	28	19	19	23	20	21	19

(衛生統計年報より)

▼平成21年死亡状況の比較

	美里町		大崎管内		宮城県	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)
総死亡数	308	100.0	2,470	100.0	20,808	100.0
がん	103	33.5	693	28.1	6,240	30.0
心疾患	37	12.0	417	16.9	3,292	15.8
脳血管疾患	30	9.7	289	11.7	2,656	12.8
肺炎	32	10.4	259	10.5	1,910	9.2
老衰	17	5.5	136	5.5	864	4.1
不慮の事故	13	4.2	88	3.5	727	3.5
自殺	4	1.3	56	2.3	577	2.8
その他	72	23.4	532	21.5	4,542	21.8

＜三大死因の死亡数・人口10万対死亡率の比較＞

			平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
がん	宮城県	死亡数	6,010	6,137	6,217	6,240
		死亡率	256.5	261.8	266.9	268.5
	大崎管内	死亡数	688	643	712	693
		死亡率	314.5	295.9	330.5	323.6
	美里町	死亡数	93	84	93	103
		死亡率	350.1	319	358.2	339.1
心疾患	宮城県	死亡数	3,163	3,101	3,219	3,292
		死亡率	135	132.3	138.2	141.7
	大崎管内	死亡数	399	416	380	417
		死亡率	182.4	191.4	176.4	194.7
	美里町	死亡数	56	63	38	37
		死亡率	210.8	239.3	146.4	143.3
脳血管疾患	宮城県	死亡数	2,702	2,768	2,685	2,565
		死亡率	115.3	118.1	115.3	110.4
	大崎管内	死亡数	336	306	331	289
		死亡率	153.6	140.8	153.6	134.9
	美里町	死亡数	39	32	44	30
		死亡率	146.8	121.5	169.5	116.2

人口10万対死亡率＝年間死亡数／人口×10万
(衛生統計年報より)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画(生活習慣病)資料

＜部位別がん死亡数及び割合の比較(平成21年)＞

		全がん	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん	その他
宮城県	男性	3,730	575	907	155	209	2	0	1,882
		100%	15.4%	24.3%	4.2%	5.6%	0.1%		50.5%
	女性	2,510	283	353	93	0	192	91	1,498
		100%	11.3%	14.1%	3.7%		7.6%	3.6%	59.7%
大崎管内	男性	426	71	97	18	29	0	0	211
		100%	16.7%	22.8%	4.2%	6.8%			49.5%
	女性	267	36	36	9	0	20	14	152
		100%	13.5%	13.5%	3.4%		7.5%	5.2%	56.9%
美里町	男性	71	18	13	3	5	0	0	32
		100%	25.4%	18.3%	4.2%	7.0%			45.1%
	女性	32	4	1	2	0	4	2	19
		100%	12.5%	3.1%	6.3%		12.5%	6.3%	59.4%

(衛生統計年報より)

＜美里町国保医療費(平成22年5月診療分)年代別受診率と生活習慣病の占める割合＞

	男性	(再掲)	女性	(再掲)
	受診率	生活習慣病	受診率	生活習慣病
20歳代以下	32.9%	0.7%	34.8%	0.3%
30歳代	25.6%	4.0%	35.4%	3.4%
40歳代	31.2%	12.3%	40.7%	11.5%
50歳代	37.2%	22.6%	52.6%	24.3%
60歳代	59.2%	40.9%	68.3%	44.3%
70～74歳	76.3%	57.1%	81.8%	60.2%
再掲 40～74歳	53.5%	35.8%	65.0%	40.1%
再掲 65～74歳	70.4%	51.1%	78.2%	55.5%

(国保連 全疾病分析、生活習慣病罹患分析表より)

※ 再掲は生活習慣病による受診者の割合

＜美里町国保医療費(平成22年5月診療分)生活習慣病の疾患別受診状況＞

	生活習慣病による受診者数	内訳:重複あり					
		脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病	高血圧症	高尿酸血症	高脂血症
20歳代以下	8	1	0	3	3	1	4
	100%	12.5%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	50.0%
30歳代	28	0	2	12	11	5	14
	100%	0.0%	7.1%	42.9%	39.3%	17.9%	50.0%
40歳代	81	6	3	25	61	14	35
	100%	7.4%	3.7%	30.9%	75.3%	17.3%	43.2%
50歳代	328	36	55	109	256	38	135
	100%	11.0%	16.8%	33.2%	78.0%	11.6%	41.2%
60歳代	1,092	193	198	392	856	105	473
	100%	17.7%	18.1%	35.9%	78.4%	9.6%	43.3%
70～74歳	733	160	168	283	599	63	310
	100%	21.8%	22.9%	38.6%	81.7%	8.6%	42.3%
再掲 40～74歳	2,234	395	424	809	1,772	220	953
	100%	17.7%	19.0%	36.2%	79.3%	9.8%	42.7%
再掲 65～74歳	1,354	278	290	499	1,094	128	586
	100%	20.5%	21.4%	36.9%	80.8%	9.5%	43.3%
合計	2,278	396	429	828	1,792	226	972
	100%	17.4%	18.8%	36.3%	78.7%	9.9%	42.7%

(国保連 全疾病分析、生活習慣病罹患分析表より)

●美里町の現状用分析表

健康増進計画[生活習慣病]資料

＜肥満度BMI25以上の割合＞（美里町町民健康調査）（単位％）

	平成17年			平成22年			
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	
美里町	25.7	31.7	20.0	25.6	29.2	22.3	（町民健康調査より）
宮城県	27.0	29.1	25.2				（県民健康調査より）
全国					30.4	21.1	（国民健康調査より）

＜肥満度BMI25以上の割合（年代別）＞（単位％）

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
平成17年	22.9	25.0	41.5	30.1	37.5	31.7	1.5	10.5	21.3	23.9	33.0	20.0
平成22年	27.9	31.9	22.8	34.8	28.5	29.2	10.0	9.9	25.4	29.1	31.9	22.3

（町民健康調査より）

＜肥満度の状況（年代別）＞（単位％）

	男性						女性					
	20代	30代	40代	50代	60代	男性計	20代	30代	40代	50代	60代	女性計
やせ	2.7	3.4	1.8	0.9	0.8	1.9	6.4	6.3	2.9	3.5	2.8	4.2
普通	69.4	64.7	75.4	64.3	70.7	68.9	83.6	83.8	71.7	67.4	65.2	73.5
肥満	27.9	31.9	22.8	34.8	28.5	29.2	10.0	9.9	25.4	29.1	31.9	22.3

※やせ：BMI18.5未満、普通：BMI18.5以上25.0未満、肥満：BMI25.0以上

（平成22年美里町町民健康調査より）

＜肥満度の状況（小・中学校）＞（単位：人）

		H19	H20	H21	H22
小学校	やせ	19	10	18	16
	普通	1,259	1,181	1,138	1,122
	肥満	147	129	125	121
	計	1,425	1,320	1,281	1,259
中学校	やせ	215	175	174	178
	普通	374	387	417	426
	肥満	67	74	68	53
	計	656	636	659	657

割合（単位％）

		H19	H20	H21	H22
小学校	やせ	1.3	0.8	1.4	1.3
	普通	88.4	89.5	88.8	89.1
	肥満	10.3	9.8	9.8	9.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	やせ	32.8	27.5	26.4	27.1
	普通	57.0	60.8	63.3	64.8
	肥満	10.2	11.3	10.3	8.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

＜平成22年国民健康・栄養調査結果概要＞

	肥満者	野菜摂取量		食塩摂取量		歩数		喫煙習慣	飲酒習慣
	男性(20～69歳)	男性(20歳以上)	女性(20歳以上)	男性(20歳以上)	女性(20歳以上)	男性(20歳以上)	女性(20歳以上)	男性(20歳以上)	男性(20歳以上)
宮城県	39.5	324	308	12.5	10.7	6,479	5,791	41.4	40.2
青森県	38.0	292	275	13.0	10.9	5,976	5,657	44.8	51.6
岩手県	38.7	321	301	12.0	10.0	7,265	6,502	39.7	46.1
秋田県	31.2	311	291	11.9	9.9	6,232	5,174	40.2	46.9
山形県	29.3	352	334	12.7	10.8	6,490	5,618	35.9	36.8
福島県	40.3	350	318	13.0	11.0	7,385	6,417	40.4	34.6
全国平均	31.1	301	285	11.8	10.1	7,225	6,287	37.2	35.9
（単位）	（％）	（g／日）		（g／日）		（歩／日）		（％）	（％）

●美里町の現状用分析表

健康増進計画 [生活習慣病] 資料

＜管内市町がん検診等受診率(平成20年度)＞

(%)

	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	特定健診
大崎市	22.4	26.5	48.1	26.0	22.2	37.8
色麻町	31.1	29.3	65.5	25.4	28.0	45.4
加美町	28.3	31.7	67.1	15.7	23.7	50.4
涌谷町	12.4	19.0	26.4	16.1	21.3	45.7
美里町	19.0	26.2	67.0	26.2	25.3	47.3
大崎管内	21.4	26.1	49.9	23.4	22.9	46.0

(各がん検診:地域保健・健康増進事業報告より)

(特定健診:特定健診法定報告より)

＜美里町がん検診等受診率＞

(%)

		胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	特定健診
平成20年度	男性	18.0	24.6	61.0			42.2
	女性	19.8	27.4	69.7	26.2	25.3	55.6
	計	19.0	26.2	66.1			49.0
平成21年度	男性	17.0	26.5	40.9			41.8
	女性	18.7	29.9	51.1	29.4	26.8	52.6
	計	18.0	28.4	46.6			47.3
平成22年度	男性						
	女性				29.1	27.1	
	計	15.3	25.7	59.1			44.6

(各がん検診:地域保健・健康増進事業報告より)

(特定健診:特定健診法定報告より)

※平成22年度は、未公表につき美里町報告数を掲載。

＜特定健康診査内臓脂肪に関する項目＞

(単位%)

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
男性	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当
40～44歳	7.7	21.2	14.6	22.0	26.2	16.7
45～49歳	39.6	15.1	33.3	12.8	30.0	20.0
50～54歳	28.2	16.5	21.7	19.6	28.6	20.0
55～59歳	28.1	13.1	28.9	15.1	37.5	11.5
60～64歳	27.3	16.5	35.5	14.2	35.5	18.9
65～69歳	27.4	17.5	25.3	12.3	30.1	19.0
70～74歳	28.8	18.4	32.9	11.6	31.9	13.9
(再)40～74歳	27.6	17.0	29.3	13.8	32.3	16.8
女性	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当	内臓脂肪 症候群 該当	予備軍 該当
40～44歳	4.1	10.2	6.5	6.5	2.9	17.1
45～49歳	4.3	10	5.8	4.3	5.2	8.6
50～54歳	8.2	8.2	7.7	3.3	11.0	4.9
55～59歳	6.6	8.7	8.0	6.6	9.8	4.1
60～64歳	14.1	10.6	12.2	7.5	10.4	8.2
65～69歳	14.7	8.7	14.8	4.6	14.2	5.9
70～74歳	16.6	11.5	14.3	4.0	15.5	6.2
(再)40～74歳	12.6	9.8	12.1	5.3	12.2	6.6

(特定健診法定報告より)

○美里町健康づくり推進協議会条例

平成18年1月1日

条例第138号

(設置等)

第1条 町長の諮問に応じ、住民の健康づくりに関する事項を調査、審議するため、健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、前項に規定する事項に関し、町長に意見を述べることができる。

(組織等)

第2条 協議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 保健医療機関の関係者
- (2) 学校等教育関係者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 健康づくりに関係する団体及び機関の関係者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた者

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長、副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成18年1月1日から施行する。

美里町健康づくり推進協議会委員名簿

	氏 名	役 職 名	備 考
1	玉手 英一	南郷病院 院長	条例第 2 条第 2 項第 1 号
2	袖井 文二	医 師	条例第 2 条第 2 項第 1 号
3	高橋 文一	歯科医師	条例第 2 条第 2 項第 1 号
4	齋藤 亮一	校長会代表(小牛田中学校 校長)	条例第 2 条第 2 項第 2 号
5	佐藤 千恵	北部保健福祉事務所 健康づくり支援班 班長	条例第 2 条第 2 項第 3 号
6	佐々木 洋子	食生活改善推進員会 会長	条例第 2 条第 2 項第 4 号
7	穴戸 三千孝	健康協力員代表	条例第 2 条第 2 項第 4 号
8	伊藤 恵子	農業委員代表	条例第 2 条第 2 項第 5 号
9	伊藤 正雄	商工会代表	条例第 2 条第 2 項第 5 号
10	松田 彰洋	社会福祉協議会局長	条例第 2 条第 2 項第 5 号